

## 目 次

### 巻頭の言葉

#### 第1部 「釜石ママハウス」

1 「釜石ママハウス」の活動	
1-1 「ママハウス」事業の対象者	2
1-2 活動実績統計	2
1-3 地域の現状	2
1-4 ママと子どもたちの状況	4
2 各種講座	
2-1 ママのエンパワメント講座・就労支援講座・保育者養成講座	4
①秘書検定講座	4
②カラーセラピー養成講座	5
③自己分析セミナー	6
④起業家支援塾	7
2-2 担い手養成講座	
①保育者養成講座	9
②女性相談員養成講座	11
③パープルサポーター養成講座	11
2-3 心身ケア講座・リラクゼーション講座	
①アロママッサージ	14
②キッズダンス	15
③ヨガサロン	16
④ロディヨガ	16
⑤ベビーダンス	17
⑥フットケア・マッサージ	17
⑦アートセラピー	18
2-4 生活潤い講座	
①クッキングサロン	19
②絵手紙教室	20
③パン教室	21
④ポーセラーツ（白磁絵付）講座	22
⑤青森ほほえみの会支援	23
3 地域文化活動	
3-1 ミュージックグループ”虹”	23
3-2 夏休み企画「環境に優しい石けん作り」	24
3-3 パネルシアター	24
3-4 食育セミナー	25
3-5 自然学習ネイチャーゲーム	25
3-6 仮設団地住民とコンサート	27
3-7 冬休み企画『世界の扉を開いてみよう』	27
3-8 食育セミナー	28
4 タブレット相談	28

#### 第2部 元気の出る家「虹の家」・「ベビーホーム・虹」

1 元気の出る家「虹の家」事業	
1-1 「虹の家」のコンセプト	30
1-2 「虹の家」の活動実績	30
1-3 「虹の家」のスタッフ体制	30

1-4	「虹の家」の移転とC型保育に転換	33
1-5	「虹の家」保育アドバイザー報告	33
2	「ベビーホーム・虹」事業	33
2-1	「ベビーホーム・虹」のコンセプト	34
2-2	「ベビーホーム・虹」の活動実績	34
2-3	ベビーホームのスタッフ体制	37
2-4	アドバイザーの導入	37
2-5	避難訓練の実施	38
2-6	「ベビーホーム・虹」の課題	38
3	子育て支援会議	
3-1	第1回子育て支援会議	38
3-2	第2回子育て支援会議	39
3-3	第3回子育て支援会議	40

### 第3部 「花巻ママハウス」

1	開設の目的	40
2	事業内容	41
	①ベビーマッサージ&赤ちゃんヨガレッスン	41
	②お茶べりアロマ	42
	③ドリームマップ	42
	④ベビーダンス	42
	⑤いちまいアルバム	43
	⑥リサイクル交歓会	44
3	「女性なんでも相談室」事業	44
3-1	「花巻ママハウス」の目指す方向	44
3-2	実績	45

### 第4部 事業評価と組織強化

1	SROI評価を導入して	46
2	学ぶ・繋がる	49
3	「母と子の虹の架け橋」の課題	51
3-1	事務局の強化	51
3-2	認定特定非営利活動法人化志向	51
3-3	理事会の定例化と業務の改善	51
	業務日誌	52
	編集後記	55

#### 資料編

- ・釜石ママハウス・カレンダー
- ・釜石ママハウス・ニュース
- ・虹の家通信
- ・花巻ママハウス・イベント情報
- ・ベビーホーム・虹通信
- ・各種講座案内チラシ（一部抜粋）
- ・新聞報道記事（一部抜粋）
- ・施設紹介

～ママの元気・家族の元気・地域の元気～

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋  
理事長 若菜 多摩英

2014 年度は事業が拡大した年度であった。ニーズに沿った活動の結果である。2011 年 9 月のママハウスの開設、2012 年 5 月の「虹の家」に次いで、2014 年度は、6 月に「花巻ママハウス」、8 月に「ベビーホーム・虹」を開設した。

震災は 5 年目を迎えた。「母と子の虹の架け橋」は、心身リフレッシュ・ケア講座から始まり、ビジネス・スキルなど目標の生き方を応援する講座、そして、2014 度は「女性相談員養成講座」と「保育者養成講座」を開講し、活動のパートナーの育成を力点にして来た。これらの育成講座は、カリタス釜石・男女共同参画課・子ども課・あすくら釜石と宮古などとの連携事業であり、行政機関との協働が広がったことを実感している。今年度 3 回開設した「子育て支援会議」も@リアス・国境なき子供たち・カリタス釜石などとの取組であった。

報告書を纏めながら、「母と子の虹の架け橋」は、NPO 団体や行政機関とより深く・より広く繋がっていった 2014 年度であったと実感している。有難うございました。

2015 年度は、昨年度の 12 月から、「花巻ママハウス」でスタートした “女性なんでも相談” の寄り添い相談を、「釜石ママハウス」でも次年度に取り組もうとしている。また、女性団体・グループの企画を支援する事業活動を展開していくことと、民間企業とのコラボレーションも加えていきたい。

“母と子の笑顔広げる” をコンセプトに、発信する女性・行動する女性・連帯する女性を広げていきたい。“ママの元気は、家族の元気・地域の元気” に繋がっていくのだから。

## 第1部 母と子の笑顔広げる「ママハウス」

図1 ママハウスの事業関係図



「母と子の虹の架け橋」は、ママのネットワークを広げること及びエンパワメントで進みたい方向に活動できることを講座等の形で支援しているのが「ママハウス」である。その後、活動期のママを支える装置が「虹の家」であり、「ベビーホーム・虹」である。ママの人生を繋がった輪でサポートしている。

### 1 「ママハウス」の活動

#### 1-1 「ママハウス」の事業の対象者

1) 乳幼児を抱える女性の就労意欲が高まっている。

女性の経済活動は活発になっている。ママハウス事業との直結の成果かの因果関係は主張しきれないが、乳幼児を抱えるママの就労意欲は喚起されている。これまで4月の待機児は無かったもののこの2年程度は待機が発生し、現在待機のママは50名いる状況である。

2) 学習意欲（キャリア形成意欲）・自己投資意欲が高い。

これまでのビジネス関連のスキルアップ講座を展開してきているが、26年度は延べ446名に至っている。尚、キャリア形成講座の受講生は企画の増加もあるが、25年度は157人、24年度は107人、23年度は21人とこの約4年間で、この講座の実施かい参加者数も大きく伸びてきている。

受講人数一覧				
	26年度	25年度	24年度	23年度
秘書検定講座	44			
保育者養成講座	150			
各種スキル講座	309	157	107	21
計	503	157	107	21

#### 1-2 活動実績統計

ママハウスの開設は2011年9月25日で、約3年半経過した。この間の総利用者は下記の表の通りである。26年度は利用者数1,135人のうち、半数近い数値がキャリア形成（スキルアップ）の受講者で、これまでにない参加形態となっている。

利用者総数台帳(=ママハウス来所者+各教室参加者)										
	ママ		子供		祖父母		合計	累計合計	視察者	
	ママ	累計	子ども	累計	祖父母	累計			視察者	累計
26年度末	1135	4372	662	3944	14	516	1811	8832	80	530
* 累計は、開設時から26年度末までの数値										

#### 1-3 地域の現状

1) 震災後も歯止めがきかない人口減少と進む過疎化

釜石は昭和55年には86,542人いたが、新日鉄の高炉の休止、それに続く配置転換などの影響で、就労人口の減少は著しかった。東日本大震災（死者888人、行方不明者152人、計1040人）が有ったとは言え、平成26年にはその人口の推計は35,819人と約40年間に4割以上の人口減

となっている。かつては、釜石には専門教育機関があったが、人口減少に伴い、教育機関が撤退して久しく、今は高校まで地元で育ちながら、盛岡・仙台・東京などへと進学し、そのまま釜石に戻れない若者もいる。加えて、高齢者人口も減り始め、人口の過疎化は止まらない。

## 2) 稼働世帯は流出し、進む人口の高齢化

釜石圏域の人口構成を昭和 59 年から経年的にたどると年少人口は昭和 62 年には 20%以下となり、老年人口は平成 7 年から 20%以上、平成 17 年から 30%以上となっている。この数年、生産年齢人口比率の減少がストップしているが、復興特需に伴う稼働世帯の転入が推定される。

ここで、釜石始め沿岸市民が復興をどうとらえているか、平成 26 年「岩手県の東日本大震災津波からの復興に関する意識調査」を見ると、沿岸部における復興の実感は、震災 3 年半経過してもなお、達成感 24.1%である一方、非達成感 51.6%もある。達成感が上昇しないと、ハードは整備されても復興は本物ではないと言えるだろう。災害公営住宅の建設は、仮設住宅退去世帯累計（1 月末）で 883 世帯 2,083 人になっている。

ママハウスでは、地域に対するママ達の意見・感想を聞いて見た結果は以下の通りである。

- ・復興事業に伴い、トラックの往来が増えたので排気ガス粉塵が無い環境は良くない。
- ・仮設団地も集約してきてはいるが依然子ども達の遊べる公園等広場は少ない。のびのびと出来ない。運動不足、ストレスが溜まる。
- ・復興住宅、民間 A P の建設、土地開発も進み再建する人に比べそうでない人との温度差が広がる。
- ・少子化問題、複式学級になる学校も出てきた。
- ・昨年春より、大型ショッピングセンターが出来たことにより、行き場所が増えた。
- ・道路工事、防波堤建設の為に交通規制などがあり市街地からママハウスへ足を伸ばしづらくなった。

## 3) 就労構造

釜石女性の非正規雇用は全国と比較して高い傾向が有り、釜石への企業誘致は、助成のパートが集まり易く、人件費が抑制できると理解する事業主がいた（しかし、現時点では人件費の単価は高騰している）。目下、釜石では、仮設住宅に住む世帯が復興公営住宅や自力での住まいの再建等が進み、3 歳未満児のママの就労意欲は上がる一方で、待機児を加速度的に増加させている。

図 2. 年少人口（青）、生産年齢人口（ピンク）、高齢人口（緑） 釜石市



ワークライフバランスが、子育て世代のパパとママにとって必要であるが、職場・家庭・地域でその体制が十分でない。正規就労を望む女性に、経理・ワード・エクセル・会計などの

専門知識や経験が有る求職者が不足しており、求人と求職にミスマッチが起きている。釜石における年齢別構造を見ると、総人口に占める年少人口（-11ポイント）生産年齢人口（-12ポイント）は大きく後退し、高齢人口の比率が高い（+22ポイント）。この17年間で、稼働年齢層の流出は大きい。

## 1-4 ママと子どもたちの状況

若い女性の首都圏志向で、地方から若い女性が減少していると言われていたが、乳幼児を抱える若い女性が釜石では働き続けようとしている。現状の釜石の女性の求人倍率を見ると、およそ、1.3倍と1倍を超える高い比率を示し、サービス産業の進出が旺盛で有る。子ども課の分析では、幼児を抱えたママの就労意欲は喚起されて高い状況で、これを反映して、待機児の数は保育所の入所定員をこの10年、110名の定数増（1.3倍）の520名と増やしているものの、この数年、待機児はほぼ20名前後で推移し、26年度は30名の待機児（主として3歳未満児）が年度の初めの4月に発生している。

## 2 各種講座

### 2-1 【ママのエンパワメント講座・就労支援講座】・保育者養成講座

#### ①秘書検定講座

★平成2014年5月17日～6月18日（全10回）  
受講延人数 44名

#### 【受講生の声】

・楽しくわかりやすく説明いただきありがとうございます。沢山の女性の方に学ぶ機会があれば良いと思います。

・秘書ということでちょっと難しく考えていましたが、普段から使えそう（生かせそう）なことも沢山あったので、意識してやってみたいと思います。楽しく受講させていただきました。ありがとうございました。

・ママハウス主催の活動への参加は初めてで、若いママさんばかりではないかと心配していました。今日来てみてホッとしました。

・人と接することが楽しいと感じる。検定という  
ことで躊躇したが、大丈夫という言葉が心強く感じられた。



・意識の高い方と一

ママハウスの主催 【7名中3名が就職4年度卒業生】

就職・転職を予定している方／受付・秘書を目指す方／独学で資格／会社に自信をつけたい方／自分磨きを女性力UPをしたい方 etc. 新卒・転職が思いやせ人。子育て中のママ・主婦の方、大活躍！事務局、同僚の方。職場に入社した後の個人スキルを社会人としてのマナーや常識を習得する機会です。お子さん、就労会社を目指す方にもお話しし立ち度感も高いや言葉遣いも身につく

## 秘書検定講座

**開催** 平成26年4月14日（月）  
～ 6月18日（土）

**開催** 平成26年5月17日（土）  
～ 6月18日（土） / 全10回

**受講料** 4,000円 講座/全10回 資料・テキスト代別

**定員** 定員25名

**会場** 高宮町 社会福祉センター2F

**申込** 〆

【対象】

【期間】

【期間内】

【申込】

【お問い合わせ】

＜FAX 申込記入欄＞

氏名	性別	住所	連絡先

【お問い合わせ】ママハウス  
〒985-0804 釜石市高宮町5-24-5  
電話 011-223-8800  
E-mail: info@momohouse.com  
URL: http://www.momohouse.com/ (PC専用) / http://momohouse.com/ (スマートフォン) 【ホームページ】

緒の空間で過ごすことがとても気持ち良いです。沢山学ばせていただき、今後の生活に生かしていきます。

・先生のお話の内容が分かりやすく、楽しく受講できています。先生の「立ち居振る舞い」「笑顔」「話し方」全てがステキです。自信がないと悩むより、自分を磨いて自信をつけたいと、前向きに考えて参加する事にしました。ママハウスさんの活動のおかげでこのような機会をいただけたことに感謝します。子育ては大変ですがそれ以上に楽しみがあります。



#### 【講師の声】早野こずえ氏

平日昼間（1回あたり4時間／全10回）の開催にもかかわらず、20～50代の主婦や自営業、行政、接客のプロの方までご受講くださり、良き出会いに感謝申し上げます。沿岸釜石のみなさんが、検定試験を受けに盛岡に受けに行くこと自体、困難と思い、現地（釜石）での団体受験を実施。その結果、今回、秘書検定講座を受講された方のほとんどが2級を受験し、ほぼ全員めでたく合格されました。

文部科学省後援 秘書技能検定は、「人柄育成」を目指しています。内容は五つの章に分かれており、第1章「秘書（社会人）に求められる資質」、第2章「職務知識」、第3章「一般知識」、第4章「マナー・接客」、第5章「技能」と学びます。毎回の講座は座学ばかりでなく、講師の長年にわたるサービス研究や実務経験を取り入れた独自のメソッドを用い、実践ワークやロールプレイを多く取り入れました。その結果、受講生のみなさんは、回を重ねる毎に明るさと輝きを増し、キラキラ、生き生き、はつらつとした笑顔、美しい立ち方や姿勢、お辞儀などの立ち居振る舞い、滑舌のよい話し方をされるなど、目に見えて変化を遂げられました。

今後、また「ママハウス」主催で秘書検定講座を開催する機会がございましたら、曜日や時間帯を考慮し、さらに多くの女性が自信と輝きを手に入れられるよう心より願っております。

#### ② カラーセラピー養成講座

★11月20日カリタス釜石にて セラピストを7名誕生！

ママハウス主催で行われたTCカラーセラピー養成講座。盛岡より人気サロンインストラクター一瀬麻世先生を迎え釜ママ発セラピストを7名誕生させた。受講生より「是非この資格を活かしコミュニケーションツールにしていけたらと思う」との声。ママハウスサロンで癒しをお届けする日も近い。



職場・地域・家庭でも心を溶きほぐす効果のあるカラーセラピストの活躍が楽しみ！

③自己分析セミナー 講師 早野こずえ氏

★2014年12月2日 受講7名

【受講生の声】

・丁度良いですが、もう少し長くお話を聞きたかったです。こんな近くで、貴重なお話をうかがえて、良かったです。

・午前中出れませんでした。午後参加だけでも非常におもしろかったです。

自分のことについて普段あまり考えていないなあ、好きなこと、自身があること、不安について、書けない現状をりました。ありがとうございました。

・ちょうど良い場所と時間だと思います。自分では気付いていない部分がまだまだあるような気がします。

ドーナツ、ホタテご飯、とても美味しかったです。ありがとうございました。

・良いです。今まであまり振り返って考えることがなかった事を書き出すだけでこれからの自分についても少し考えることができた気がします。

書くことが多かったのもう少し先生のお話をいろいろ聞きたいと思いました。

・ふだん何となく生活している事が多くて、自分の事をじっくり考える事があまりなかったので、そのきっかけを頂けて、とても良かったと思います。今の自分、未来の自分をイメージして今後に生かしたいとおもいます。ありがとうございました。

・釜石でこのようなセミナーが受けられるとは思ってなかったのでこれから色々なジャンルのものを開催してください。今日は参加できてよかったです。

【講師の声】 早野こずえ氏

セミナー自体は皆さんご家庭で忙しく「書く」などという時間がないだろうと考え黙々と書く作業がメインになったと思います。過去の出来事を振り返り「意味付け」することから ～ ○年後、自分はどうしていきたいか、そして価値観を図るカードを使ったり、感情を整理することをしてみました。

お昼の談話タイムに来客も複数あり、時間が足りないと感じるほど、まだまだ受講された皆さんとお話ししていたかったです。本当に素敵な女性ばかりで、興味深そうに「もっと講師の話聞いていたかった」と言ってもらい、やりがいを実感しました。今後も釜石の女性たちの自己実現に向けて、お役に立てるような有意義な講座を提供でき





ばと思っております。

#### ④起業家支援塾

★2015年1月16日 受講延15名

##### 【受講生の声】

- ・駐車場も多くあるので参加しやすかったです。
- ・内容もわかりやすく、自分の事を組み立てていくヒントをたくさんいただきました。
- ・事業主からみた経営
- ・場所・時間はとても良いと思います。参加して本当に良かったです。わざわざ2時間かけて参加したかがありました!!とても私にとって有益な時間でした。先生もママハウスの方々もありがとうございました。是非…やってみたいです。
- ・場所 良かったです。時間 良かったです。もっと聞きたいくらい。感想 方向性をどうするか迷い中だったのでとても参考になりました。
- ・起業といとなかなか決断がいかなくて色々考えていました。今回、沢山の事を聞き、勉強になりこれからの生活・仕事に生かしていき、本当に起業できるかわかりませんが頑張っていきたいと思えます。
- ・市内で起業セミナーに参加させてもらい、とてもありがたく思いました。ありがとうございます。こんなに本格的だとは思っていませんでした。
- ・前回(2年前)半分しか参加できなかったのが、今回また半分参加させて頂きました。講師の先生のお話がとても魅力的で、とてもポジティブで元気をもらいました。
- ・3つ児の～、が大切とは意外でした。
- ・起業・独立には「これから」と「これまで」が大事だということがわかり、自身の「これまで」と「これから」を洗い出すことで“思っているだけ”が“計画”にかわってきそうな感じがしました。
- ・場所わかりやすく、時間も参加しやすい時間だったと思います。参加型で楽しく学びました。



- ・程良い時間だと思います。参加しやすいです。
- 自分を知り、相手を知ること、相手に合わせたニーズをつきとめていくことなどを学び、あらためて自分を見直すことができた。
- ・震災時に妊娠していた。以前は正社員で働いていたが、現在はアルバイトの立場で働いている。子どもを保育園に預けているが、子どもの病気などで仕事を休みがちで

ママハウス主催  
女性のための起業セミナー

起業という、ちょっと堅苦しい感じがしますが・・・  
趣味を活かして、楽しめることを何とかしたい!  
子育てと両立できる働き方を考えたい! もっと自分を輝かせたい、自分らしくいたい!  
自分が持っているのを活かしたい! そんなアナタのために「起業」だけでは足りない働き方を  
ご提案します。主婦のチカラ! を今後の自分の働き方に生かしてみませんか?

【第1期】10:00～12:00  
・なぜ起業したい?なぜ起業できる?  
・自分の強みを整理しよう!  
・アイデアの発想法  
・費、収入、どのように稼ぐか 等

【第2期】13:00～15:00  
・子育てママの起業事例  
・ベテラン女性の起業事例  
・個人、会社、NPO? 事業の後の遊び方  
・起業資金と補助金 等

講師: 津田 美穂 (ママハウス代表)

一般財団法人起業支援ネットワークNPO 代表理事 株式会社タンク 代表取締役  
1999年生まれ、地方創生、社会の課題解決を軸として、27歳、株式会社タンク設立。  
毎年、創業フェアを通じて1000人以上の起業家や起業家にお会い、アドバイスと情報交  
渉の場である。起業支援ネットワークNPO | <http://tdk.com/about>

【日時】平成27年1月16日(金) 10時～15時 (休憩110)

場所: カリヤス駅 会議室 (駐車場あり)

特別講師「私の家」開設しているので、小さいお子様が  
いらっしやっても安心して受講できます。(登録必須 22-7732)

参加無料 定員20名 [mail: mama@tdk.com](mailto:mama@tdk.com)  
お申込み・お問い合わせ [www.mama-house.jp](http://www.mama-house.jp) TEL/FAX:05-9422

平成26年度厚生労働省委託 女性起業支援全国展開事業  
後援: 富石市産業振興部工務課・富石市総合産業育成センター

★お申込み (FAXにてお申込みの場合は記入欄に必ずこのままお送りください)

お名前	電話番号(携帯)	性別
姓		
名		
住所	Eメールアドレス(必須)	

続ける困難を感じている。自分に何ができるかを考えたい。

・現在妊娠中。今はどのようなことで起業をするか検討中だが、自分のできることを見つけて、いきいきと働きたいと思った。

・少額でも起業できるという話を聞き、背中を押された。  
・起業によって地域が盛り上がる可能性や、自分の夢を実現できるかと思った。



#### 【担当者より】葛西香奈

緊急的な復興事業が一段落した時、就労の場がなかった、では本格復興にはすすめない。震災前の産業復興とともに、震災前とは違う仕事の間をみんなで作っていかねばならないのだと思う。漠然としているけど、もしかしたら自分も…と可能性を感じた人もいるかと思う。ぜひフォローアップ講座を実施したい。

「起業」というと、中々決断が行かなくて色々と考えている参加者の多い中、運転資金や起業実例など聞くことができ、これからの生活、仕事に生かして頑張りたい。という参加者からの声を頂いております。全国を歩かれた、増田先生の釜石での日常生活からは想像も付かないお話を聞ける機会は貴重なものでした。本来なら、遠方へ足を運んだり、セミナーの参加に掛かる料金が発生するところ、無料で参加できたことで、参加に迷っていた方も、進んで前に出るきっかけになったようです。

起業・独立には「これから」と「これまで」が大事だという事がわかり、自身の「これまで」と「これから」を洗い出すことで“思っているだけ”が“計画”に変わって行きそうな感じがする。と参加者からの声も聞いております。自分の強みを確認したり、誰に何を売るか考える時間は、復興への一步を踏み出す前進に繋がったようです。『起業』という堅苦しい気がしますが、セミナー自体堅苦しくはなく、楽しく有意義な時間でした。

\*女性労働協会の記事紹介：女性就業支援全国展開事業（平成26年度厚生労働省委託）

『女性関連施設等事業担当者のための女性の起業支援実施の手引き』に、ママハウスの起業家支援塾を以下の通り紹介している。

女性の起業は、雇用されて働くことの困難さを緩和することが出来る働き方である。同じベクトルを持った者同士での女性の共同事業は、働きやすさでもある。子どもの病気等にしても、その看護での休みも理解し合い助け合うことのできる相互の融通し合える働き方である。経営である以上、事業の企画・運営・実施・見直しのPDCAが組み込まれており、自らの経験をばねにしていくキャリアも形成される。ママハウスでは、



この起業家支援塾をこれまで3回ほど実施してきた。

#### 【講師の声】

子供や家庭の事情などで雇用されて働くことが難しいという女性に対して、単独もしくはグループで起業することを考える機会としたいという趣旨で開催した。平成24年度、平成25年度、平成26年度に継続して実施している。

・平成25年度の参加者は約10名。市内と近隣の市町からの参加があり、仮設住宅に暮らしている方もいた。子育てと両立できる正社員の働き口がない、震災後夫の転勤で釜石に来たが仕事がない、などの理由により、女性の起業という働き方に関心を持っている意欲の高い方が多かった。

・セミナーには、釜石復興新聞、岩手日報などマスコミの取材があった。

・主催団体は、地域自治体や公的機関と積極的に連携している。今回のセミナーは、釜石教育委員会の後援であるが、別のテーマのセミナーは、社会福祉協議会、商工会議所など多数の後援を受け、後援先の関係者がセミナーで挨拶をする場面もあった。団体の活動を地域全体の復興支援に繋げるよう努めている。

#### 【特色】

・震災後、(主に子育て中の)女性支援のために釜石市で活動する「NPO 法人母と子の虹の架け橋釜石ママハウス」が主催。震災直後は緊急時対応の妊産婦ケアを実施し、現在は地域の女性に対する中長期的な支援活動を行っている。

・子供や家庭の事情などで雇用されて働くことが難しいという女性に対して、単独もしくはグループで起業することを考える機会としたいという趣旨で開催した。平成24年度、平成25年度、平成26年度に継続して実施している。

・平成25年度の参加者は約10名。市内と近隣の市町からの参加があり、仮設住宅に暮らしている方もいた。子育てと両立できる正社員の働き口がない、震災後夫の転勤で釜石に来たが仕事がない、などの理由により、女性の起業という働き方に関心を持っている意欲の高い方が多かった。

・セミナーには、釜石復興新聞、岩手日報などマスコミの取材があった。

・主催団体は、地域自治体や公的機関と積極的に連携している。今回のセミナーは、釜石教育委員会の後援であるが、別のテーマのセミナーは、社会福祉協議会、商工会議所など多数の後援を受け、後援先の関係者がセミナーで挨拶をする場面もあった。団体の活動を地域全体の復興支援に繋げるよう努めている。

## 2-2 担い手養成講座

### ①保育者養成講座

★平成2014年7月2日～7月24日(全10回) 受講延人数 150名

#### 【受講生の声】

☆講座で得たこと

発達過程における特徴やケアのポイントが学べた。沐浴は普段経験できないことだったので勉強になった。トイレトレーニングなど今自分が悩んでいることの講義内容でとても興味深かった。子どもの病気について学びました。色々な症状があり対処法も様々で改めて責任がある仕事なんだと考えさせられました。調乳の実習など覚えていなかったため勉強になりました。病気のチェックポイントなど育児の上でとても参考になった。ケガや病気の対応は難しいと思いました。病気や事故が起こらない環境づくり、万が一が起こった場合の対処法等を学べた。色々な遊びを覚えたいです。子どもにとって「あそび」はとても重要なものだとわかりました。大人になって絵本を聞くのもすてきななあと思いました。

折り紙が苦手ですが、色々な折り方を教えてもらい出来上がると楽しいです。たくさんの折り方を知っていたら子どもが喜ぶと思いました。

☆今後の活用について

自己流の子育てだけでなくまた勉強しなおして誰かの役に立てたらいいなと思った。コミュニケーションとは互に通じ合うこと。一方的にならないことが大切と勉強になった。

・日常生活と遊び、確認テストと絵本の読み聞かせ、とても重要な事柄で学習できました。

壁面装飾作り、協力して楽しく行うことが出来ました。

今までの子育てについても振り返ってみるきっかけになりました。この経験を生かせる仕事につければ最高かもしれません。

■子育て応援《保育士》講座日程 場所 福石市民福祉センター（大館町3-15-26）

実施日	時間	科目	内容	担当・講師等
210(月)	10時～10時10分(10)	開講式	日程連絡	子ども課 母と子の虹の架け橋
	10時15分～12時(90)	保育の内容①	地域の社会資源の活用 保育の記録・体制	大館の子保育課 養護
		保護者との関わり	保護者と保護者との関わりと対応 など	
213(木)	13時30分～15時(90)	子ども虐待	子ども虐待とは 発見と通報 など	子ども課
214(金)	10時～12時(120)	心身衛生法	飲食衛生法 幼児安全法	赤十字救済事業 大館支部
215(土)	9時30分～	【対児「虹の家」ガイダンス】	虹の家での保育について	虹の家 スタッフ
	10時30分～12時(90)	子どもの食事と栄養	離乳の進め方 幼児期の食事づくり 食料アレルギー ほか	健康推進課 栄養士
216(火)～219(金) 2日連続	9時～11時(30分)×2日	保育実習Ⅰ-実習 子どもの遊び場と遊びせ方	実習・実習 子どもと遊びと遊びせ方、遊びを通しての成長。	各認可保育園等
224(月)	10時～12時(120)	小児保健	乳幼児の健康観察 子どもに多い症状・対応 子どもに多い病気・対応 事故予防と対応	健康推進課 保健師
225(火)	10時30分～12時(90)	保育の内容②	保育・1日の流れ 異年齢保育	中津川町の保育 養護 副園長
227(木)	10時30分～12時(90)	子どもの安全と救急	健康管理・救急の留意 事故・事故の予防 保育の留意点 緊急時の連絡・対応・対応 ほか	認定こども園 こうとう保育園 養護師
	13時～15時40分(90)	乳幼児の発達と心理	発達時期の区分と発達 ことばとコミュニケーション ほか	子ども課 発達支援室 臨床心理士
228(金)		気になる子どもへの対応	気になる行動 行動特徴 対応の考え方 ほか	
	13時45分～14時(15)	終了式	終了証交付 アンケート記入 ほか	子ども課 母と子の虹の架け橋

問い合わせの電話番号  
NPO 母と子の虹の架け橋(大館) 22-7733 / 子ども課 22-5121 / 福石保育課 22-1180  
中津川町の保育課 23-0550 / 小笠原保育園 23-0530 / 上中津保育所 23-7907  
福住保育園 28-2510 / 福石保育園(大館) 23-1553 / こうとう保育園 27-5011

NPO 母と子の虹の架け橋は、新卒に限り少人数研修事業に2000  
スタッフ構成の「保育者養成講座」を開催します。  
※研修費は無料、受講料は研修費のみです。  
定員15名まで研修するサービスです。

開催期間 平成26年7月2日(金)～7月24日(土) 全10回  
開催日時 (開催は9:00～15:00) 26日(土)、28日(月) 全2回(2日)の2日間  
開催時間 10:00～16:00 受講人数 15人～20人程度  
開催場所 カリタス館石 オープンハウス会議室  
※開催場所は変更の可能性あり(当日)決定の要(24日)まで  
定員 定員は15名(カリタス館石)を希望可能な限り、(日時の都合は関係なし)  
※定員超過は、小規模保育園等へ転出、(当日)決定の要(24日)まで  
参加費 参加費は無料です。  
※定員超過の場合は、福石市の地域型保育事業等に転出する  
「保育者」として認定します。  
※また、バリエーションは研修費が無料、研修費等はすべて講師の負担が原則  
申込 申し込みは、申し込み用紙を提出し、研修費等はすべて講師の負担が原則  
申込 申し込みは、申し込み用紙を提出し、研修費等はすべて講師の負担が原則  
申込 申し込みは、申し込み用紙を提出し、研修費等はすべて講師の負担が原則

お問い合わせ 24時間 カリタス館 北上校

〒997-0001 大館市大館 福石市民福祉センター  
〒997-0001 大館市大館 福石市民福祉センター

NPO法人 母と子の虹の架け橋  
〒997-0001 大館市大館 福石市民福祉センター  
TEL: 0193-53-5422  
FAX: 0193-53-5422

申込方法 FAXにてお申込みの際は記入済みの用紙を添付して下さい

氏名	性別	住所
電話番号(携帯)		Eメール(必須)

## ②女性相談員養成講座

★平成 2015 年 1 月 17 日～7 月 27 日(全 4 回) 受講延人数 44 名

### 【受講生の声】

・今日は児童相談所の普段は聞くことの出来ない貴重なお話をいっぱい聞くことが出来ました。先入観を持たない、相手の気持ちに寄り添うなど、昔の自分に反省することが多くありました。今日の講座で学んだ事を仕事や子育てに役立てたいです。先生の人柄にふれ、中学生達が心を開いていく様子も感じました。とても良い講座をありがとうございます。



・“子育て相談”についての講座でしたが、子育て相談の中には虐待、親子関係、里親などたくさんの方があり、とても勉強になりました。相談を受けるという事、先入観を持たないこと、病名をつけて決め付けてしまわないことなど、相談を受けるということの難しさを改めてわかりました。相談員になるには、たくさん勉強して、知識を深めること、自分のケアの重要性も改めて気付かされました。

・子供達の育つ環境の大切さ(愛情のかけ方)を学べた。子供達の言葉、態度にもたくさんの意味があり、各々の特徴を理解し接する事ができれば良いのかと考えました。子供は大人が思っている以上に物事を確り考えている等々、知り配慮した対応を心がけたいと感じました。

・集中できたので良かった。話の内容が新鮮で分かりやすかった。何の名もない私でも生きられると思った。生活困窮者自立支援法に触れることができて良かった。

・生活困窮者自立支援法にとってもひかれるものがあったので先生のお話を聞くことが出来てぜひ取り組みればなあーと思いました。

・自分にとって身近な問題を事細かく詳しく教えて下さったし、最後のロールプレイングは実際見れて勉強になりました。

・思っていたよりヘビーなテーマで驚きましたが、とても勉強になりました。各関係機関の連絡先が実用的です。

## ③パープルサポーター養成講座[基礎編]の開催

カリタス釜石・男女共同参画課と母と子の虹の架け橋の3団体の共催事業として、青葉ビルを会場に、女性の生きづらさ、複雑・多様化するDV・虐待についてなど、女性が抱える家庭や職場などでのさまざまな悩みを理解することや専門的な知識を連続講座を通して提供し、相談者が求めるニーズにあった窓口につなぎができる人材を育成するための講座を開催した。

開催期間：2015年5月20日～6月10日(全5回)

講師：NPO 法人インクルいわて、NPO 法人参画プランニング・いわて、  
もりおか女性センター、沿岸広域 振興局保健福祉環境部  
親業訓練シニアインストラクター・カウンセラーなどの6名

### 【内容】

・親子、夫婦、周りの人たちとの効果的なコミュニケーション～自分らしく輝いて生きていくために～

- ・DVについての身近な相談窓口
- ・ひとり親家族支援を通して～多様化する家族のカタチとは～
- ・自分らしく生き生きと毎日過ごせるように
- ・女性相談の現場から
- ・女性のために自己実現を目指して

### 【感想】抜粋

DV被害者支援に必要な姿勢を学ぶことができました。ロールプレイが良かった。自分のこととかさね合わせて聞いて、こういう夫婦げんかに発展させたくないときどうしたらいいか、考えさせられた。自分の価値観を押しつけてしまいそうですが、相手の話を共感して聞いて、気持ちがかもった言葉で返していくことが大切だと感じました。自尊感情を大切にすること・自己有用感について改めて覚知した。

ワークショップで自分とは違う対応・考えが聞けてよかったです。女性・子どもへの暴力に関する世界的歴史背景やこの分野における世界との比較で、日本の遅れについて改めて知ることが出来て良かった。

ケアする立場の見識・観点が大変大事だということを感じた。二次被害の「加害者」にならないこと。日本社会の男女差別の深さ、大きさを改めて知りました。DV被害にあわれた方が、DVから離れた後でPTSDなどの症状が出るという話は勉強になりました。また、当事者に対して共感的に傾聴することで、他の問題にもつながり得る原因を発見できると知り、参考になりました。

相手が困ったり怒ったりしている時は、その人が自分自身でその問題を乗り越えていけるように「気持ちを聞く」対応をすること、「相手の気持ちを聞く」とことと「自分の気持ちを伝える」ことがセットになってこそ、効果的だということを学んだ。

### ③-1 よりよく生きるサポーター講座「釜石サポーター講座」

母と子の虹の架け橋」はあすくら・釜石と協力し、シリーズの第3弾として、7月24日（木）は、「女性の生きやすさを支えるために」～すべての人が輝く社会に向けてと題して、あすくら釜石・あすくら宮古の主催の相談員養成講座に協力団体として参加し、講師に松本 和子さん（NPO 法人女性ネットさやさや 代表理事）を迎えて、「釜石サポーター講座」を開催した。

今回は「生きづらさを生きやすさに変える支援」をテーマに、「生きやすさ」を実現するために精力的な活動をしている先進事例を学んだ。生き辛さを抱えた女性は、幾つかの複合した課題を持っている。子どものこと・仕事のこと・親族の問題など、幾つかの課題を抱えた女性に対し、指示型の相談対応ではなく、寄り添った相談をしながら、何をしていきたいと願っているのか丁寧な相談行えるよう、今回の講座は、その基本的姿勢やノウハウも含めカリキュラムであった。

### ③-2 2015年2月開講 「女性相談員」養成講座

生き辛さを抱えた女性は、幾つかの複合した課題を持っている。子どものこと・仕事のこと・親族の問題など、幾つかの課題を抱えた女性に対し、指示型の相談対応ではなく、寄り添った相談をしながら、何をしていきたいと願っているのか丁寧な相談行えるよう、今回の講座は、その基本的姿勢やノウハウも含めカリキュラムである。また、個々の課題の今日的な問題状況を理解できるプログラムでもあり、相談者のニーズに沿った動きのできる養成講座とした。

これまで過去、相談対応の経験のある方の参加は勿論、昨年の「パープルリボン 女性相談員養成講座」の受講者始め、初めてという方にも受講として広く声をかけると共に、被災4年目を迎える年度を前に、人への支援をされる方々にも職務のスキルとして、また、幅広い各種の課題を抱える方への“よりそい相談”が展開できるノウハウも学ぶ講座として開講した。

生活格差が顕在化してきている今、対人の相談やケアに拘わられる人材の育成を視野に、常に、第一線の現場で活動している方々を講師に迎え講座を構成した。

#### ア) 加藤静香氏 (弁護士) ・ ・ 相談事例の紹介と、それに対応する制度や手続の紹介

- ・ 離婚するときどのような手当があるのか→慰謝料，財産分与，養育費，年金分割の説明
- ・ 離婚調停，離婚訴訟についての説明
- ・ 家族に内緒の借金があるときの債務整理方法→破産，任意整理の紹介
- ・ 児童虐待が疑われる家庭が近くにあるときの対応
- ・ 家庭問題あるあるな事例紹介と，法的な対応策（姑との喧嘩の際に夫が味方をしてくれない，夫から見下すようなものの言い方をされる，等）
- ・ 自宅債権と二重ローン問題→ガイドラインなどの債務整理の制度を説明（債務整理にどれくらいのお金がかかるのか，時間はどれくらいかかるか，債務整理の記録が戸籍や住民票に残るのか，等）
- ・ 簡単なディスカッションや質疑応答タイム，

#### イ) 吉田直美氏 (暮らしの相談)

##### 【総論編】

- ・ 支援員に求められる基本倫理と基本姿勢
- ・ 相談支援の展開
- ・ 生活困窮者支援を通じた地域づくり
- ・ 就労支援

##### 【実践編】

ロールプレイを実施した。

例題： 20歳と18歳の子を持つDVに苦しみ離婚を考えている母 夫は60歳

夫は水産会社に勤め、年収は450万円である。私は北上のスーパーのアルバイトで、月収12万円である。別れても収入が少ないので、生活が困難。どうしたら良いか？

#### ウ) 宮古の児童相談所の所長 中野幸二郎氏

- ・ 親子関係のベースとなるもの

- ・昨今の親子関係にみられる課題
- ・児童虐待の問題
- ・震災の影響
- ・子育て相談で留意したいこと

#### 【講師の感想】

##### 吉田直美氏

講座では、まず、地域における生活困窮の実態とその原因から説明。特に、震災後のストレス環境において、女性や子どもといった社会的弱者にそのしわ寄せが出ていることを見える化することを目指した。その結果、参加者からは、他人事を自分事としてとらえることの重要性などの指摘があった。続いて、そのような状況にどのように対応していくのか、実践を踏まえた説明をした。初心者にはたいそう難しいことのように感じたかもしれないが、その理念、心得をまずは理解することが必要で、その上に知識・技術・経験を重ねることが肝要であると説明。参加者からは、地域の一員としてこれからもできることからやっていきたい等の感想が寄せられ、概ね所期の目的を果たしたものと考えている。

##### 加藤静香氏

この度の勉強会には様々な立場の方からご参加いただき、それぞれの立場ならではの質問が出て、私自身にとっても貴重な学びの場となりました。

参加者の皆さんからの質問内容はどれも具体的であり、実際に皆さんが日々の生活や業務の中で法的問題にかかわる機会が少なくないことを感じました。

法律問題に関係するか否かを問わず、はじめて相談業務を担当する方は、「分からないことを聞かれたらどうしよう」とか「相手が満足する回答をすることができないのでは」といった悩みや心配を抱えるかもしれませんが、その場で完璧な回答をする必要はなく、まずは相談者の訴えを否定せずに受け入れることを第一に考えていただければと思います。

女性にとって、日々の生活の中で不安や心配事を抱えることがあっても、思い切って誰かに相談することは勇気が要ることかもしれません。気心の知れた友達であっても話づらいことは多々あるかと思いますが、逆に自分の知っている人であるからこそ話づらいこともある筈です。

そうした女性にとって、自分の心の中に溜まった鬱憤や不安を吐き出せる場所はとても貴重です。そういった場があることを是非1人でも多くの女性に知って頂きたいと思いました。

## 2-3 心身ケア講座・リラクゼーション講座

### ①アロママッサージ

#### 【参加者の声】

・いつも楽しみにしています。ハンドマッサージにラッシュのバーを使用しましたが、優しい香り



でよかったです。

・始めて参加させていただきました。スタッフの皆さんも温かく迎えてくださって初めて来た感じがしませんでした。アロママッサージもとても気持ちよくてすごく癒されました。参加して本当によかったです。これからもいろいろ参加してみたいのでよろしくお願いします。

・上半身、背中、首、腕をマッサージしてもらった。普段じぶんでも人にも触れられない部分、首～肩まで重かったのが嘘のように軽くなった。首も長くなった気が…。香りもよかったし癒しの時間でした。

・とてもリラックスでき、肩のこりもほぐれ最高でした。

・二回目のアロママッサージだったのですが、とても気持ちよかったです。

・すごく気持ちよくて日頃の疲れがとれました。また参加したいです。

#### 【講師より】

・・・肩凝りに悩む参加者に対し

・皆さん肩凝りがあるとの事で、今日は背部全体を施行。クリームで行い、エッセンシャルオイルは使用せず背部全体に塗布してのマッサージでした。3人の方は、リンパの流れが悪いかな～と感じました。1人のママには少し時間が不足だったので、LUSHさんからいただいたアロマバーを使用してハンドマッサージを施行。さらっとして、優しい香り！でも、オイルより皮膚の浸透はあまりよくないかな。でも、持ち運びや手軽さの面でバーという形が凄いい！！

・・・妊婦さんに対し

・どちらも妊婦のママだったため、妊婦の禁のオイルは使用せず肩にかけてマッサージを行い、左右に分けて側臥位で施行。妊婦であっても、リラックスでき身体の負担が少しでも軽減できたら・・・と思う。

## ②キッズダンス

★毎月2回（釜石・鶴住居会場）

#### 【参加者の声】



・初めて参加して、最初は緊張していたが、周りの方と一緒に踊っていたらあっという間に終わってしまいました。ベビーダンスは子どもと一緒に動けるのですごく楽しかったいい運動になりました。

・前回と違った動きもあって楽しかった。

・今日も程よい運動で楽しかったです

・2ヶ月ぶりに来たので疲労感がすごいです。ベビーダンスは難易

度が上がってきてやりがいがあります。筋トレにもなりそうなので次回も参加します。

・楽しかったです。私から離れない娘でしたが、やらない？と聞くとやりたいと言うので、楽しんでいたんだと思います。顔も楽しそうだったし…。

・親子一緒に体を動かせる機会がないので、楽しかったです。

・親子ともどもとても楽しかったです。ありがとうございました。

- ・久しぶりに体を動かしたので、とてもいい運動になりました。子どもとスキンシップ出来て嬉しかった。楽しかった。
- ・とても楽しかったです。このようなイベント知らなかったなので、情報があつたら早くから来たかったです。
- ・子どもも楽しそうにダンスしてくれたので良かった。思った以上に動けて成長を感じた。私自身も楽しめました。

【講師の声】 高橋佳奈(ベビードダンスインストラクター)

### ③ヨガサロン：保坂広子（ママスタッフ）

★平成 26 年 9 月 9 日 『中秋の名月スペシャル YOGA』（ママ 3 名）

★平成 26 年 12 月 9 日 『YOGA+旬のフルーツスムージー』（ママ 4 名）

【利用者の声】

- ・最後は眠ってしまいそうな程でした。リラックス出来ました。
- ・血流が改善された感じがします。運動不足なのですっきりしました。
- ・リフレッシュできてよかった。
- ・先生の雰囲気も優しい感じでやりやすかったです。
- ・ヨガ定期的にやりやすいです。わりと運動したいです。
- ・親子ヨガをもっとやってみたい。

【講師の声】 保坂広子

『YOGA』は、インドの古い言葉で『つなぐ・つながる』という意味があります。母と子の虹の架け橋の活動はまさにヨガそのもの。ゆったりとした深い呼吸でココロとカラダをつなぎ、ママの心が安定することで自然と笑顔がこぼれ、その明るさは子どもや家族にも波及します。今年度は、女性の体にリンクする月の満ち欠けを利用したヨガ、体を温める旬の食材を活かしたスムージーを取り入れるヨガを行っていきましたが、これらの内容は妊活にもつながります。震災でダメージを受けた釜石ですが、子ども達の笑顔であふれる町になるよう小さなところからお手伝いすることが出来て嬉しく思います。

### ④ロディヨガ

★2014 年 10 月 18 日開催

ヨガセラピスト二木弘枝さん、骨盤調整ヨガインストラクター佐藤頼子さんによる  
ロディヨガ&ゆびヨガ

※当日は被災地支援として午前中に陸前高



田、夕方に大船渡で開催。

ありがたい事にその間にママハウスにも来ていただいた。

パパ1人ママ5人 女の子 6人 男の子 2人

#### 【参加者の声】

- ・子どもがヨガのポーズを出来ていたのが意外でびっくりしました。楽しそうで良かったです。
- ・初めて参加しました。ずっと参加したいと思っていましたがなかなか来られなかったのが良かったです。骨盤ヨガはとっても気持ちよくて是非続けて受けたいです。ロディも無理なく参加でき楽しそうで良かったです。
- ・突撃参加でしたがとても楽しく気持ちよくて、参加した甲斐がありました。全身が痛気持ちいいです。帰宅してキツめのジーンズをはくのが楽しみです。

#### ☆開催場所・時間について

- ・良いです。土曜日だとなかなか参加が難しいかもしれませんがまた参加したいです。・良かったです。子どもたちが騒がしくてすみません。

#### 「講師の声」二木弘枝氏

以前釜石に来たときに参加してくれたお子さんが赤ちゃんだったのに今回は随分大きくなり、更には第二子まで生まれていて、改めて時の流れを感じました。

また、子どもたちも意欲的に参加してくれて、釜石のお母さんが前向きに子育てをされていることがうかがえて嬉しかったです。ママだけでなくパパの参加もあり骨盤調整ヨガを体験していただきました。復興支援ということで訪問していますが、私たちスタッフのほうが刺激を受けてかえってきました。また来年度も釜石に行きたいと思っています。ありがとうございました。

### ⑤ベビーダンス

#### ★毎月1回

- ・眠い時間だったので今回も抱っこしか出来ず残念！でも、とても楽しかったです。また参加します♪
- ・今日もゆったりした気持ちになれてうれしかったです。四角のステップが難しかったけど頑張ります。ありがとうございました。
- ・楽しく運動できてよかったです。また、赤ちゃんといっしょにできてとてもよかったです。
- ・今回も楽しく参加させていただきました。最近ではダンスでもなかなか寝てくれず……。また今夜からおしりをキュッとしながらがんばります！！



### ⑥フットケア・マッサージ

#### ★2014年4月開催

#### 【参加者の声】

- ・すごく気持ち良かったです。リフレッシュできました。また参加したいです。



・とても気持ちよかったです。むくみの話等聞けて参考になりました。

つぼの話などとても興味をもちました。

4月で一旦お休みされるとのこと、残念ですが、機会があれば、またお願いします。

#### 【講師より】三浦綾（ママサポーター）

皆さんには少しでもリラックスした状態になってもらいたいと思い、心地良い空間作りを心がけました。女性特有の悩みであるむくみのお話、老廃物を出し血流を良くする代謝アップのお話などをさせて頂き、改めてリンパマッサージ&ツボ押しは体を元気にしてくれるということをも自分自身も気付かされました。子育て、家事などで追われ、普段ゆっくりできない、自分自身に手をかけられない。そういったママさん達の声聞き、リフレッシュできた、また癒しの場を設けてほしいとの声を頂くと、これからもママの癒しの場所は必要だと感じますし、母親が元気であれば子供達も元気でいられると思います。

心と体は繋がっているように、ママさん達の笑顔が子供達の笑顔を増やしていくことだと思うので、そういった癒しの場をこれからも提供できたら嬉しく思います。

・リンパマッサージとツボ押しの説明をさせていただきましたが、そもそもリンパとは何だろう？と自分自身もわからないところでしたので、説明させていただきました。

リンパマッサージをすることで免疫が上がり、免疫が上がると健康にも繋がることを話しました。ツボも奥が深いので少しずつ伝えることができました。

#### ⑦アートセラピー

★2014年9月～11月 計6回

一般社団法人全国心理業連合会

山下先生・下山先生・瀬上先生

☆コラージュワークショップ

・スポーツメンタルトレーナーを本業とし、

2016年リオのオリンピックに向けてスポーツ選手も育てている心理カウンセラーの瀬上先生を講師に行きました。お題は「なりたい自分」雑誌やパンフレットをパラパラめくりながら、イイなあ〜と目に留まった写真やイラストを自由に切り抜き、台紙にこれまた自由に貼っていくという…。おしゃべりしながら、ハサミで、チョキチョキ。お隣でキッズも一緒に、ビリビリ。

無心で没頭する時間も、出来上がった時の満足感や達成感もなんだか気持ちいい

それぞれ思い思いのコラージュが出来たら見せ合いっこ。いま考えていること、望んでいることが「見える化」されて、自分の内面を知れたり、未来への展望を確認できたり、今後の目標が見えてきたり…と、大盛り上がり！パートナーにやってもらってどんなことを考えているのか知ったり、定期的にやって日記のように自分の成長記録や思考の推移をたどるのも面白そう。

## ☆さをり織ワークショップ

### 【参加者の声】

- ・初めての参加でしたが、とても集中できてあっという間でした。家でもできそうなのでやってみたいと思います。
- ・初めて参加しました。最初は、色の配色でまよってしまいましたが、そのうちに集中していき、時間があっという間に過ぎてしまいました。

## 2-4 生活潤い講座

### ①クッキングサロン

#### 【参加者の声】

- ・今日はスムーズにクッキングできて良かった。子どもが喜んで食べてくれました。
  - ・お赤飯を作っているところをはじめてみました。とても美味しかったです。カブもポタージュもおかわりしました。
  - ・どれも大変美味しかったです。作り方も勉強になりました。楽しかったです。
  - ・どのメニューもとても美味しかったです。お赤飯もなかなか蒸して作らないので、美味しく止まらない感じでした。カブの葉の炒め物もおいしく家でも気軽に作れそうなので作ってみたいと思います。
- 鮭とイクラのばらちらし、すんごい楽しみでした！とてもおいしい！！けいらんも新鮮、こんなのあったんだと驚き！毎回驚きと感動です。
- ・土曜日って事で少人数でしたが、逆に広々と料理も出来、ご飯もゆっくり食べれたので良かったです。



- ・おいしかったです。娘も一緒に参加させていただきありがとうございました。彩りも栄養もよく、楽しく調理いただきました。ありがとうございました。
- ・どのメニューも美味しかったです。けいらんも初めてでしたが、おしることは違ってあっさり食べれました。いり豆腐も水分を飛ばすのが少し

大変でしたがヘルシーで良かったです。

- ・今日も楽しくおいしくできて、サイコーでした！おなかいっぱい満足です。
- ・久しぶりに参加しました。託児つきなので、講座に参加するためにどこか託児所を探す…などの手間もなく、ママハウスのスタッフにみてもらいながら安心して別室（談話室）でクッキングができて、ありがたかったです。

小学生の女の子も参加していたので一緒にお手伝いしてもらいながら「これちぎってね」とか「一緒に切ろうか」というやりとりが楽しかったです。

#### 【食改協の方の声】

・今日は久しぶりにおはぎを作ることになって若いお母さんたちと楽しく過ごすことができ、本当にありがとうございました。昔から食べてきた日本の行事食を時々若い人たちと一緒に作って一緒に食べることは極当たり前のようですが、すごく大事なことで、大変よい1ことだと思いました。

これからも昔から食べてきたものを時々思い出して皆と一緒に作って行けたらと思いました(菅原直子)

・今日は赤ちゃんのトロトロ煮(5~6ヶ月用)だったが調子が悪く来られない赤ちゃんもいて残念でした。今回はもち米だけのおはぎでしたが、美味しく出来て皆さん笑顔でいただきました。長いもとなめこ汁は長いものトロみも加わり口に入るとサッととけ、素晴らしいご馳走でした。

(佐藤)

【講座担当】太田フジ江

・クッキングサロンをはじめてから早いもので39回になります。これも食生活改善推進員の菅原直子さん、佐藤せつみさんのお陰です。感謝で一杯です。月1ですが、ママ達にリクエストの要望がある時はメニューに取り入れながら、普段作らない料理等、離乳食の手早く出来るレシピ、妊婦さんのお乳の出るメニュー等、健康的な料理を考えると私は幸せを感じます。明るい笑顔で皆で



食卓を囲み楽しく料理を食べる、食べさせる、この一時でお互いに癒され調理するママ達の腕前も子育てと同じ成長です。私もクッキングの担当になり楽しい時間を過ごすことができ嬉しく思っています。

## ②絵手紙教室

【参加者の声】

・久しぶりの参加。ゆったり参加できてよかった。楽しかった。皆さん上手だった。

・すごく楽しかったです。また参加したいです。

・普段なかなか使うことがない筆で絵を書くということがすごく楽しかったです。集中できたので頭がすっきりしたような気がします。また参加したいです。丁寧に教えて頂き嬉しかったです。



・初めての経験でしたが先生がわかりやすく丁寧に教えてくださったので一回目にしては素晴らしいものになりました。心も穏やかになりました。ありがとうございました。

・色々勉強になりました。

・和紙を使つての絵手紙が新鮮でした。

・初めて参加しました。自宅にあるもので簡単にできるのに感動しました。

楽しかったです。

### ③パン教室

子どもが作れる・、食べるものに興味と関心を持つ。親子ふれあい、ママ同士が親しくなる、簡単でおいしく、安全で・、ホームベーカリーを使わないでパンを作れる！！

袋とフライパンで作れる、食品の安全性を考え、全粒粉と普通的小麦粉の食べ比べや天然酵母からのパン作りを特別な道具を使わずフライパンで行った。

パン教室のメニューは、パンコース・ピザコース・パニーコース・お楽しみコース（チーズ入り、あんこ入り、かぼちゃ、レーズ入り、野菜入り）である。

#### 【参加者の声】

##### ●講座に参加してみても

・今日の教室も楽しくあつという間でした。美味しくいただきました。あらためて自然素材の重要性を感じました。

・久しぶりに参加させていただきましたが、本日もイングリッシュマフィン、レーズンマフィン、ピザなど種類が豊富で楽しく作る事が出来ました。今回は酵母から作ったり、メニューの資料も頂いたりとしみもりもり盛り返りださんなので、さっそく粉や酵母を購入して自宅でも作りたいと思います。

・パンとても美味しかったです♪酵母の起こし方もやっていただいたので自分でも作ってみたいと思います。

・簡単に作れるパンなので時間が無いときにパッと作れるかなと考えて。人見知りをするのですがとても仲良しな雰囲気の中楽しく作ることができた。

##### ●開催場所・時間

・良いと思う

・ちょうどよいです。

・鵜住居や甲子などさまざまな場所でできたらと思います。時間はこのくらいが丁度いいかと。

##### ●意見・要望・リクエスト

・子どもの食事やおやつになるパンのメニューを沢山知りたいです。

・パンケーキもやってみたいです。ネイルやってもらいたいです。ヨガやエクササイズ的な（運動系）やってみたいです。



#### 【講師の声】 櫻井京子（ママサポーター）

昨年度に引き続き、ママハウスでパン教室の講座を担当させていただきました櫻井京子です。私自身、二児の母です。

このパン教室は、子育て中のママでも簡単に出来る、ポリ袋とフライパンで天然酵母パンを作るので、初心者の方々におすすめのパン教室です。安心安全な国産の材料を使い、イングリッシ

ユマフィンやパンピザなどを作ります。お昼時間に合わせてお子さんも一緒に試食。当日パン教室でこねた生地は、自宅に持って帰ってから焼けるので、教室の復習にもなります。

今年度、私の2度目の出産のため、4月しか開催することが出来ませんでした。しかし、ママハウスを紹介する番組への出演の機会も頂き、これもまた、ママハウスのパン教室を継続してさせていただいたお陰だと思っています。ありがとうございます。

その後も、様々な所でパン教室をさせていただきました。地元の子育て支援センター、仮設住宅の集会所、復興住宅の集会所、アパートの一室。対象も様々で、同じ子育て世代のママ、大先輩のグランマ達、ときにはやんちゃな子どもまで…。このパン作りを通して、食べることの大切さ、楽しさ、美味しさ、幸せを、伝えていきたい。私の小さな食育の活動を、これからもどうぞ宜しくお願いします。

#### ④ポーセラーツ（白磁絵付）講座

★2014年10月3日（金）

参加者 大人5人 子供 3人

##### 【 講座の感想・評価 】

- ・子連れで参加できて助かりました。
- ・講師先生のお陰で楽しく参加できました。
- ・丁寧に教えてもらい綺麗に仕上がったので焼成後を楽しみにしています。
- ・自分のセンスが磨けたらなあと思いました。・釜石でこんな事ができてうれしい。

##### 【 開催場所・時間について 】

- ・子どもが眠い時間なのでAMだと助かる。丁度いい。

##### 【 意見・要望・リクエスト 】

- ・また、ポーセラーツやってみたいです。
- ・お菓子皿や、カップ&ソーサーもやってみたいです。
- ・またやりたい。楽しい。今度いつやるのか教えて欲しい。

★2014年11月4日（火）

参加者 大人3人 子ども1人

##### 【 講座の感想・評価 】

- ・蓋付きのマグカップを作れて嬉しかった。
- ・楽しかった。
- ・自分にも出来るんだと自信が持てました。

##### 【 開催場所・時間について 】

- ・丁度良いです。

##### 【 意見・要望・リクエスト 】

- ・お菓子皿や、カップ&ソーサーもやってみたいです。
- ・またやりたいです。





【講師の声】 葛西香奈

同じ素材を使ってもそれぞれの個性が活かされて

大変素敵な作品になりました。転写紙貼りの基本が受講生皆さんできたので、次回も素敵な作品になる事を期待しています。

全国的にはポーセラーツ人口は多いものの東北沿岸ではあまり知られてなく、岩手県沿岸のインストラクターは私のみとなっていました。

今後インストラクター養成講座、展示会等が出来れば、釜石から世界へ発進される芸術作品が増えると思います。

### ⑤青森ほほえみの会支援

★4月19日・6月28日 心の復興～あなたに遭いたい～

ハンドリンパケア、カラーセラピー、ビーズストラップ製作、男性保育士によるあそび、・ネイル、紙芝居、読み聞かせ、傾聴 他

二度にわたり遠方より大型バスで着いただき内容盛りだくさんで、心の復興を支えられる。多数仮設団地住民も参加。喜んでもらう。参加された方のお子さんも読み聞かせや保育士によるあそびで楽しんでいた。

## 3. 地域文化活動

### 3-1 ミュージックグループ・虹

虹の家には、釜石市内の他、県内外からボランティアの方々が来て、子ども達を笑顔いっぱいにしてくれる。

月に一度来て下さる「ミュージックグループ虹」の方々を、子ども達はとても楽しみに待っている。ピアノ伴奏に合わせて体を動かし歌をうたい、楽しい絵本の読み聞かせを子ども達は夢中で楽しむ。

その他にも、さくらの会、バルーンアートやマジックのピエロさん、おたまじゃくしの会、埼玉のグループ、福岡のグループ、東京からのサンタさん、東京からの絵本読み聞かせの方、国内外の打楽器と遊ばせてくれた軽米町の方…虹っ子達をいっぱい楽しませて下さった方々に感謝しています。

佐々木美佐子氏（ミュージックグループ“虹”）

虹の家とベビーホーム虹への訪問をさせていただき、ありがとうございます。毎回、先生方から待っていましたよ・と第一声、子供達の笑顔が私達を迎えてくださいます。こちら、気合いが入りやる気度マックスに↑

キラキラ体操をしながら、子供達の様子をキャッチ。少しずつリラックスしてきたところで季節の歌を歌ったり、マラカスでリズム遊びをします。それぞれのノリで楽しんだり、先生方の声かけもあり一体感が生まれます♪動から静の時間に。絵本の読み聞かせの時は、絵本の前に陣

取り夢中になり見聞きしています。ファンタジックな世界でいっぱいになる瞬間です。それから、日頃保育に携わる先生方にリラックスしていただきたいと思い、ピアノの曲を演奏することもあります。子供達も静かに聴いているので感心しています。後半は、リズム遊びを取り入れ汗ばむ程度体を動かします。こちらの声かけにすぐ反応し笑顔いっぱい、キャキャと楽しそうに遊んでいます。エンディングは、皆の大好きなアンパンマンマーチをノリノリで歌い、あっという間の時間が過ぎていきます。笑顔で始まり笑顔でさようならです。その笑顔も先生方にたくさんの愛情いただき、安心して過ごしている環境があつてこそだと強く感じています。私達も、30分一本勝負！子供達に真摯に向き合います。

### 3-2 夏休み企画「環境に優しい石けん作り」

★2014年8月8日 参加児童数8名

【スタッフの声】葛西香奈

日本リザルツ宮川氏指導より合成洗剤が海に流れることで自然にどのような影響を及ぼすか学習。自由研究も兼ねて、ママハウスのある平田仮設団地周辺地域小学生対象に開催された。高学年が低学年に石けん作りを手伝う姿が微笑ましかった。地元の海を汚さない方法やこれからお母さんになる為にお腹の中の赤ちゃんがお母さんの使用する石けんで具合悪くしないかなど、色々な疑問質問が出るたび、環境を守る為に自分たちが今出来ることは何かを子供ながらに考えたようであった。



### 3-3 パネルシアター

講師…澤村明子氏

☆平成27年1月24日（土）子育て支援者向け研修

会場：認定子ども園 甲東幼稚園・こうとう保育園

内容：子どもを巻き込んだ手法・効果的な演出方法

参加者：18名（保育士・幼稚園教諭・子育て支援者・興味のある一般の方）

☆平成27年1月25日（日）親子向けパネルシアター講演

会場：イオンタウン釜石

内容：糸巻きの歌・だるまさんがころんだ・おもちゃのチャチャチャ（ブラックライト使用）

参加者：午前の部17人（大人9人・子ども8人）

午後の部35人（大人17人・子ども18人）

【アンケート結果】13人中（男性5人・女性8人）20～50代以上

全体の満足度：大変満足9人・満足4人

手作りのシアターで歌もパネルも素敵。次に何が出てくるか子どもたちもワクワクしているの

が感じられこちらまで嬉しくなりました。子どもも大人も一緒に参加できるものがあり、ブラックシアターもとても綺麗でした。

【講師からの声】

二日間大変楽しく過ごさせて頂きました。先生方の熱心な姿勢と、子ども達のはじける笑顔の写真を見て、また釜石に行きたくなりました。次回があれば、もっともっと皆さんの実践にアドバイスしたり、他の作品も紹介したいです。パネルシアターは子どもとすぐに遊べる手段ですので、是非活用して貰いたいです。

主催 認定NPO法人いわて子育てネット、協力 釜石ママハウス ・ 後援 釜石市

### 3-4 食育セミナー

☆3月9日(月)『楽しく食べて、健康・元気!大人も、子どももしっかり食べよう♪』

【講師】 飛高 佳代 氏 (アイフィールド代表・管理栄養士ライフスタイルインストラクター)

【場所】 カリタス釜石 一階研修室

【内容】 食に対する考え方(バランス・食べ方)の基本を知る。

簡単で手軽に続ける健康法。子連れOK!! お弁当付き食育セミナー。

【参加者数】 大人(女性7名・男性1名)子ども(男の子6名・女の子3名)合計17名

【講師の声】: 飛高佳代氏

「子どもがいるから、なかなかセミナーに行けない」と言われる方が多い中で、食に関わるお話は、お子さんがいるお父さん、お母さんだからこそ、聞いてもらいたい話だったりします。今回、とても素敵な機会を作っていただき、話をしている私もすごく楽しかったです。真っ直ぐこちらを見てくださっている皆さんの顔がとても真剣で、みなさんの食に対する熱意がものすごく伝わってきました。お子さんが元気過ぎて、皆さんのところに声が届いたか少し心配でしたが、感想を拝見すると嬉しくなることをたくさん書いてくださっていました。

食は毎日のことなので、簡単に長続きできることが大切だと思います。炭水化物に雑穀を取り入れて、咀嚼をする。少しずつでも構いませんので、ぜひ続けていていただきたいと思っています。また開催する機会がありましたら、今度はみなさんと対話しながら、お話を進めたいと思いました。本当にありがとうございました!

### 3-5 自然学習ネイチャーゲーム

☆10月7日(火) こすもす公園

参加者: 大人8名 こども6名

【担当スタッフの声】 菅野望実

さわやかな秋晴れのこすもす公園で開催されたネイチャーゲーム講座。参加したママ達が、童心に返って芝の上に寝転んだり、草花を摘んだりしている様子を微笑ましく思いました。子ども達もその様子を見て、ママの真似をして気持ち



良さそうに自然と触れ合っており、ネイチャーゲームは自然を大切にすることを育むだけでなく、子どもの情緒の安定にも繋がるのではないかと感じました。

ネイチャーゲームを母子のコミュニケーションツールの一つとし、自然と触れ合い、自然から得た体験や感動を分かち合い、子ども達が豊かな心を育てていくことを願っております。

【参加者の声】

・ちょっとした工夫で自然の中で、楽しく、気持ちよく遊べるきっかけがわかったような気がしました。天気もよく気持ちよかったです。

・一番上の子が5歳になり、色んな言葉が分かるようになりアニメに子守をさせてしまっているのもとても勉強になりました。親が考える遊びは既製のおもちゃを使ったり…のことが多かったのも、おもちゃを使わなくても自然のもので遊びになるのだなと感じました。

・自然と触れ合う素直な楽しさを思い出したような気がします。早速実行してみたいと思います。

・ネイチャーゲームとよく聞きますが、どういったものかわからなかったのが学べてよかった。自然と触れ合っているのに気が付かないことがたくさんあり、今までとまた目線が変わった。自然と向き合ってもっと楽しさを見つけられそうです。

・なかなか自然と触れ合うことは難しいと感じていましたが、今



日の講座で色々な方法があることを発見できました。私自身楽しく参加できました。息子がもう少し大きくなったら一緒にやってみてみたいと思います。

・自然と触れ合いながら、家族みんなで遊ぶ方法を学べたと思います。もっとたくさんゲームを知りたいと思いました。

・子どもの相手をしていただいたので、自分の事に集中できて楽しく参加することが出来ました。内容も簡単で道具もあまり必要ないので他のお母さんにも教えてあげたいです。

“時間場所について”

- ・とても気持ちよくてよかった
- ・いいと思います
- ・暖かい時間帯で場所も自然豊か、季節を感じられる場所でよかった。

### 子育てママの ネイチャーゲーム入門

ネイチャーゲームでは、大人が子どもに一方的に知識を教えるよりも、大人も子どもも、ともに自然を感じ、自然から得た体験や感動を分かちあおうという姿勢を大切にしています。  
そんなネイチャーゲームをぜひ一度体験してみませんか？




- ★開催日・時間 平成26年10月7日(水) 10時～12時 ※雨天時は室内で実施
- ★開催会場 こすもす公園 池の畔7番5-72 動物観察レストランこすもす 池の
- ★対象者 子育て中のママ
- ★参加人数 15名(先着順)
- ★参加費 無料
- ★持ち物・服装等 水分補給飲料、小さな数珠、帽子、ハイヒール・サンダルは別の服装
- ★予約料OK! 費用は誰にでもOKです。参加は当のスタッフが費用を負担します。
- ★実施場所等 このセミナーは、日本シェアリングネイチャー協会が主催のインストラクターによるネイチャーゲーム入門講座として実施いたします。

【ネイチャーゲームとは？】  
目的、ネイチャーゲームアソシエイション、190 歳以上とあります。  
多種多様な体験を通じて、自然に習うお母さん達や子ども達に寄り添って楽しむことができます。また、自然の中だけでなく、年中行事や、学校の行事、ホームの体験活動にも取り入れて楽しむのが可能です。  
【知っておくべきこと】  
ネイチャーゲームにはさまざまな種類があります。例えば・・・  
・自然の現象への理解が深まります  
・活動によるさまざまな自然体験が得られます  
・自然の楽しみや感動を共有できます  
・他者への思いやりを自然と学べます

- ★お問い合わせ NPO法人 母と子のちのちのち  
ママハウス： 豊田駅前 5-04-6 平日 9時～18時 24-6  
TEL & FAX 0193-66-6422  
Mail mamahouse@chichichichi.com
- ★お申し込み FAXにてお申し込みの方は、お入金の振り込み先にご住所を送信してください

お名前	電話番号(携帯)	住所(お子様の年齢と年齢)
性別	メールアドレス(必須)	

- ・天気も良く、気温も丁度良かったです。
- ・子どもも場所に慣れているので自分の好きなように遊んでいたし、時間もちょうど良かったです。

### 3-6 仮設団地住民とコンサート

★2014年9月2日午後2時～3時

平田第6仮設サポートセンターのご協力により会場をお借りし、設営準備までして戴く。

埼玉県の“虹の会”（代表高岡様）より読み聞かせと音楽を平子どもから大人まで楽しめる内容盛りだくさんで行った。

フルート演奏では今年大ヒットの「アナと雪の女王」や大人向けの「昴」「いい日旅立ち」等。また、みんなで昭和の名曲を歌うコーナ

ーもあった。※「虹の会」様はこれまでも陸前高田等ボランティア活動の支援を行っている埼玉県の団体で、私ども法人と同じ名前に縁がありそうでした。



### 3-7 冬休み企画「世界の扉を開いてみよう」

★1月13日（火）大人5名 こども10名

【スタッフの声】葛西香奈

・市内の学校の冬休み期間を利用し、小学校から英語教育が導入される事に伴い、世界の文化を知って英語を好きになるきっかけ作りになれば良いと釜石市内小学校の冬休みに特別企画した。

・青年海外協力隊での活動と海外留学経験のある辻賢哲氏に、スライドを用いて分かりやすく世界を紹介していただきました。ちょうど冬休み中ということもあり、参加者の中にはこれから英語の授業が始まる小学生の親子も参加。世界の事を知って、英語がどうして必要か、世界の人と話してみたい。改めて日本の良さを感じた。等々参加者から、英語への興味を引き出す充実した時間で、楽しかったとの感想。参加者は、スタッフを含め15人で、半数以上が冬休み中の小学生が占めた。

【当日のプログラム】

講師がこれまで訪れた国々を100枚程度のスライドを用い参加者に紹介。韓国や台湾、フィリピン、ベトナム、インド、ケニア、マラウイ、イギリスの様子を写真やビデオを用い、参加者と言葉を交わしながらプログラムを進めた。特に参加する小学生から、スライドが変わる度に、感

**冬休み特別企画**

**世界への一歩を  
踏み出そう!**

青年海外協力隊での活動と海外留学経験のある  
スライド講師の先生が、言葉を使って  
話のわかる世界を紹介！ 特別企画

外国の事を知って日本を好きになろう!

- ・英語を好きになるきっかけに  
なるかもしれない
- ・誰でも参加OK

お話し：辻 賢哲氏（フィリピン）

**H27年1月13日（火）**  
**14:00～15:00**  
**平田第6仮設 談話室**

**問合せ：55-5422（ママハウス）**  
**釜石ママハウス&日本リザルツ釜石**

想や疑問が挙がった。最後に、ラグビー・ワールドカップ招致や東京オリンピック開催をひかえる釜石と日本に関連付け、国際交流や外国語に親しむ事の大切さを話しプログラムを終了した。

#### 【参加者の声】

紹介した国々について、既知っている内容もあった一方、見たことのない食べ物も含まれていたという報告が挙げられた。また、建物の外観より、内部、特に大英博物館に展示されているミイラなどに強い関心があり、それについてもっと知りたかったという声もあった。1人の保護者の方から、「英会話」となると抵抗感があるが、「お茶やお菓子を食べながら」という表現だと参加しやすい、という意見が寄せられた。

### 3-8 食育セミナー

#### 【講師の声】：飛高佳代氏

「子どもがいるから、なかなかセミナーに行けない」と言われる方が多い中で、食に関わるお話は、お子さんがいるお父さん、お母さんだからこそ、聞いてもらいたい話だったりします。今回、とても素敵な機会を作っていただき、話をしている私もすごく楽しかったです。真っ直ぐこちらを見てくださっている皆さんの顔がとても真剣で、みなさんの食に対する熱意がものすごく伝わってきました。お子さんが元気過ぎて、皆さんのところに声が届いたか少し心配でしたが、感想を拝見すると嬉しくなることをたくさん書いてくださっていました。

食は毎日のことなので、簡単に長続きできることが大切だと思っています。炭水化物に雑穀を取り入れて、咀嚼をする。少しずつでも構いませんので、ぜひ続けていっていただきたいと思っています。また開催する機会がありましたら、今度はみなさんと対話しながら、お話を進めたいと思いました。本当にありがとうございました！

## 4. タブレット相談

### ★9月から1月迄月3回程度実施

遠隔地から被災地母子支援施設への継続した支援方法としてIT活用による支援体制で実施した。

つくば国際大学母性看護学の大槻優子先生、了徳寺大学公衆衛生看護学の川名ヤヨ子先生、つくば国際大学母性看護学の中田久恵先生による「こどもの成長発達」「こどもの病気」「産後の体不調」等タブレットを用いて遠隔で相談を試みた。

#### 【スタッフの声】菅野・葛西

我が子に関する心配事は、大なり小なり多くのママが抱えています。どこに相談して良いのかわからない時、タブレットを通じて大槻先生や中田先生に的確なアドバイスを貰って問題解決していくママの姿は、表情が明るくなるだけでなく、ママとして一つ成長した様子が見て取れました。



周囲の人達に相談事が聞こえてしまう心配や、タブレットの音声が聞こえづらいということも

ありました。しかし先生方の優しい表情を見ながら相談でき、多くのママが安心して心の内を打ち明けられたのではないかと思います。タブレット相談がママ達の不安を少しでも解消できる、新たな心の拠り所になると良いと感じました。

【利用者の声】

・初めてタブレットで相談して、声だけではなく顔が見えるのでジェスチャーで答えられるので良かったです。話している最中も、人形を使ったりしてくれるので子どもも画面を見て一緒にお話できて良かったです。

・会話をするのにタイムラグがあったり、途中途中途切れたりするので話づらかった。病院で相談するほどでもないが気になる点を気軽に聞けるところはよかったです。

・チクチクお裁縫カフェ：佐藤セツミ氏

3回シリーズお裁縫カフェの感想は、初めてミシンを使って就園準備の小物を作りたいという参加ママ。ジグザグ縫い直線縫い、バッグ縫い等を使いこなせるようになり出来上がった小物を見て大喜びしてくれる。そんなママ達をみて嬉しいこと・・・。

## 第2部 元気の出る家「虹の家」・「ベビーホーム・虹」

釜石の求人倍率は、ハローワーク釜石の情報によれば、昨年度は若干の上下が有るものの1を超えおよそ、3前後を推移していたが、急激に落ち込み2月現在は、1を下回り、0.94となっている。しかし、サービス産業の進出が旺盛で有る釜石では、表2の通り、2015年の認定こども園の開所もあって、1.4倍の593名と増やしているものの、27年度は37名の待機児(主として3歳未満児)が年度の初めの4月に発生している。待機児童の増加は確かに困った現象ではあるが、乳幼児を抱える若い女性は、被災地の釜石で働き続けようとしている。

表2 待機児の推移

年度	定員	入園児童		
		4月1日	4月1日	10月1日
H16	410	448	27	-
H16	410	465	8	14
H17	410	458	40	31
H18	436	461	24	22
H19	465	475	6	13
H20	510	512	2	2
H21	496	523	0	9
H22	496	531	0	16
H23	490	488	0	8
H24	490	530	3	19
H25	520	537	0	23
H26	520	565	39	30
H27	593	596	37	

釜石では、年度の初めから発生している待機児解消を目指して、保育定員の拡充と入所数を増やす形で保育の整備を行っており、かつ、民間でも事業所内に保育所を備えたところも出てきたが、容易に待機児が解消できない現状で有る。

市は、そのため待機児対策のため、2014年8月、待機児解消加速プランによる小規模保育の実施を「ベビーホーム・虹」の委託(定員15名)に加え、2015年6月さらに「虹の家」に定員10名の委託を予定している。

## 1. 元気の出る家「虹の家」事業

### 1-1 「虹の家」のコンセプト

虹の家では平成24年5月より、保育園の待機児や求職活動、資格取得で学ぶ方、通院・家事都合等で子どもを預けたいというママ達を応援し、お子様の一時預かり保育を行っている。これは、釜石市との連携のもとに行われている取り組みであり、野田武則釜石市長の同意の下に実施している事業である。

今年度も引き続き復興支援の(担い手の運営力強化)実践事業として、県の公開プロポーザルで助成を頂いた事業で、虹の家の運営に当たっては地域との連携のもと行うため、釜石市子ども課・社会福祉協議会・仙壽院・NPO@リアス・NPO 国境なき子どもたち・NPO カリタス釜石・上中島保育所・こすもす・保育アドバイザーを構成団体として、子育て支援会議を年3回設けている。

### 1-2 「虹の家」の活動実績

0歳児から2歳児までの異年齢の子ども達が、同じ空間で過ごす事の良さを生かしつ保育者は行動力の違いによる動きを常に見守っている。なお、保育室は1室ではあるものの120㎡の室内を活かし、時に応じて年齢別の保育を行い、双方にとって発達の間となるよう保育している。

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
就労	人数	30	55	96	4	0	0	0	187
	受け人数	357	711	1224	38	0	5	0	2335
研修	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
(育-フ-ク)	受け人数	0	0	0	0	0	0	0	0
研究	人数	11	1	2	0	0	0	0	14
(その他)	受け人数	95	2	5	0	0	0	0	102
就活	人数	3	0	2	1	0	0	0	6
	受け人数	4	0	2	1	0	0	0	7
定率割合	人数	12	1	2	1	0	0	0	16
	受け人数	38	4	3	1	0	0	0	46
講座	人数	2	0	1	0	0	0	0	3
(その他)	受け人数	10	0	1	0	0	0	0	11
計	人数	56	57	100	6	0	2	0	226
	受け人数	504	718	1226	40	0	5	0	2503

#### 1) 「虹の家」の託児の特徴

「虹の家」では、0歳児～2歳児の異年齢保育のため、身体的行動力が大きく異なる事から、健康面・安全面に留意し見守り保育をしている。室内においては、アコーディオンカーテンで仕切れる事から、活動により0歳児、1・2歳児と分かれて保育をする時もある。そのことで、子ども達の集中力・安全面が保たれるよう配慮している。

午前中の散歩は、体力作りと自然観察を兼ね、その日の天候を見ながらほぼ毎日実施している。子ども達は散歩が大好きで、風や草木に触れ季節を感じながら、情操面を多に養う事に意を払っている。「虹の家」にはおやつや給食のサービスはない。調理施設が整っていないことや、食物アレルギーの問題を考慮し、食の提供はしていない。愛情たっぷりのママ手作りのお弁当は、子ども達の大好きな時間。完食すると「ピカピカ！見て～！」と言って笑顔で弁当箱を見せてくれる。

### 1-3 「虹の家」のスタッフ体制

「虹の家」は、「ベビーホーム・虹」の先輩格で、2012年5月から開設しています。定員はこれまで15名で、保育者は保育士2名、看護師1名、保育者3名の計6名で預かり保育を行い、就労のママのお子様だけでなく、ママたちの学びたい・リフレッシュしたいを支援してきて



いる。

### 1) 基本的な生活のスケジュール

- ① 登園・検温・手洗い，うがい・自由遊び
- ② トイレ・おむつ交換・手洗い
- ③ おやつ・水分補給
- ④ 歌・絵本，紙芝居の読み聞かせ・製作・音楽教室等
- ⑤ お散歩
- ⑥ トイレ・おむつ交換・手洗い，うがい
- ⑦ お弁当
- ⑧ お昼寝・検温
- ⑨ トイレ・おむつ交換・手洗い
- ⑩ おやつ・水分補給
- ⑪ 自由遊び
- ⑫ お帰り

### 2) 年齢ごとの保育と子ども達の様子

- ☆0歳児
- ・母親から離れる際、不安で泣いてしまう子もいるが、保育者におんぶや抱っこをして、時間をかけて安心して過ごせるよう配慮している。
  - ・昼寝、食事、排泄等個々の生活リズムが違うため、その子に合った対応を常に心掛けています。又、一人一人の欲求を十分に満たせるよう援助する。
  - ・虹の家で「初めての一步」を見たり、小さな歯が生え、お弁当も離乳食から幼児食へと変わるなど、目覚ましい成長が嬉しく、同時にママ達の愛も感じる。
- ☆1歳児
- ・手洗い→おやつ，お弁当→お昼寝等、虹の家での生活リズムが身に付いてきた。自分から手洗いへ行ったり、おんぶでお昼寝していた子が、自分から布団へ入るなどの成長が見られる。
  - ・二語文を上手に使い、友達や保育者とのやり取りを楽しむ。又、自分より小さい子を可愛がったり、手をつないであげる姿も見られ微笑ましい。
  - ・当初泣いていた子も、今は朝から笑顔で、休みの日も「虹の家に行きたい」と言っていたとの事。
- ☆2歳児
- ・家庭と連絡，協力しながら、トイレトレーニングを行っている。
  - ・自己主張や反抗期も見られるが、それも成長の過程。その思いを受け止め寄り添い、時に相手の思いを伝えながら、日々保育に努めている。
  - ・季節ごとに製作に取り組み、様々な素材に触れ、豊かな感性を伸ばせるよう活動している。



### 3) 日中の生活の様子

- ・絵本、紙芝居等、毎日親しむことで集中力も出てきた。
- ・手遊び、歌では、0歳児も喜んで楽しんでいる。
- ・子どもの登園時には保護者とのコミュニケーションをとり、降園時にも今日の一日の様子を話しながら、保護者との信頼関係を築いている。



嘱託医（平野先生）健診

### 4) 保健

#### < 1 > 健康面

体温、顔色、排泄状況などの観察を行い、個々の体調を気遣う。（検温は一日2回）

#### < 2 > 感染症対策

- ・市内保育園の感染症状況を把握し、保護者に動向を知らせる。
- ・感染症発生時は集団感染を防ぐため普段に比し、早めの対応を心掛ける。
- ・日々、おもちゃ、床、机、椅子等 塩素系消毒液で掃除を行っている。

#### < 3 > 怪我などの応急措置

- ・傷のない軽いもの（打撲等）に対しては、昔ながらの枳酒を付ける。
- ・傷のある軽いもの（擦過傷等）に対しては、薬品を使用せず清拭のみとし、程度によってはラップで覆う。

#### < 4 > 手洗い、うがいの指導

- ・手洗い…爪の間を洗う時には『ガオー』の手でと教えている。
  - ・うがい…『ガー』『オー』と言って喉の横側と縦側を洗わせるよう指導している。
- インフルエンザシーズンは紅茶を使用。

### 5) 保育の散歩コース

#### お散歩マップ 虹の家

お散歩コース、交通ルールに気を付けて！



#### < 持ち物 >

- ・換気扇拭き
- ・ウェットティッシュ
- ・園児の消毒液
- ・タオル
- ・ビニール袋
- ・扇風機
- ・扇風機
- ・扇風機
- ・扇風機

#### 1-4 「虹の家」の移転とC型保育に転換

2012年5月より、2015年6月の丸3年間、元平田第6仮設団地自治会長の柏木功好氏のご厚意で、釜石市大只越町にある柏木ビル1階120㎡を格安の家賃でご提供いただいた。この度、公文教室の再開に伴い移転を行うこととなった。移転先は、中妻町1-16-10（カッパ鯨の近く）に予定。

#### 1-5 「虹の家」保育アドバイザー報告

虹の家では、平成26年10月より保育環境向上のため、保育アドバイザーとして 佐藤 チヨ先生（元 上中島保育所、公立幼稚園 勤務）を迎え、月一回指導助言して頂いている。

子ども達は、先生が来て下さるのを楽しみにしており、一緒に散歩や室内活動の他、保育者とのコミュニケーションも取って下さり、良き助言者として信頼を寄せている。

〈アドバイス抜粋〉

- ・散歩に行く時、歩く距離と時間は、月齢に合わせ無理のないように配慮した方がよい。
- ・ポカポカ陽気の中、大きい子が歩調の遅い子を迎えに戻ったり、声を掛け励ます様子が見られ、成長の姿をとらえることが出来た。
- ・年齢の違う子ども達が、全員揃うのを待って保育活動を行うより、その時点で主にどの年齢を対象に保育をするかのしぼり、絵本、紙芝居を選択して進める。
- ・手遊びは、子ども達の喜びの表情がたくさん見られる。0歳児も見よう見真似でやろうとしていた。簡単な仕草の手遊びで導入し、絵本の読み聞かせや食事の挨拶に入るのがいいのかな…。
- ・一ヶ月間の子ども達の成長に驚きながら共に過ごした。
- ・小麦粉粘土—4色の粘土に、男児女児とも自分の好きな色があり選択して取り組めた。すぐにあきてしまうのではと思っていたが、長時間集中出来て良かった。

## 2. 「ベビーホーム・虹」

「ベビーホーム・虹」は、2014年8月1日に、旧小川幼稚園跡利用で、“すくすくさん”と同居で開設した。「ベビーホーム・虹」は待機児童のための施設で、預かる子供たちは、早い子で2ヶ月間位だけの保育の子供もいる。

子供たちの成長は日々目まぐるしく、また子ども同士が仲良くなるスピードもあっという間で。保育室は1室と言う環境もあり、相手を思いやったり、小さい子のお世話をしたり、大きい子の行動を真似したりと良い影響が出ている。

歩けなかった子が、ハイハイし・・・1歩動けるようになり・・・3歩になり・・・10歩になる日々の瞬間を目にする事が出来ています。とびっきりの笑顔を見せてくれますし、すやすや寝る姿も愛おしく、子供は、3歳までに親孝行をすと言いますが、この時期までの子供たちの身近にいて、共に遊んだりできるのは保育の醍醐味だ。

入ったばかりは、一日中泣いていた子が、今では逆に帰りたくないと言っている。初め

てピアノを聞いた時は、固まっていた子供たちも、今では手を叩いたり腰を振ったり一緒に歌ったりと大変身。お散歩で抱っこばかりねだっていた子が、自力でしっかり歩ける様になったり・・・本当に毎日子供の成長を感じない日はない。日々、神経細胞が伸び、増えていく子に頼もしさと命の強さも実感する。

そんな子供たちの成長が、保育者の力になり、それが子供たちの笑顔に繋がり、それがママたちの笑顔に繋がる輪を実感。朝・晩の送迎時のママと保育者の会話も弾む。保育者は、日中の子供さんの様子を日誌でお渡しだけでなく、口頭でお伝えもし、また、家庭でのお子様の様子など保護者様からお伺いしたりの一瞬は、互いに発見もあって楽しいものです。

「ベビーホーム・虹」には、保育士1名、看護師1名と、保育者（市の認定証交付者）6名の計、8名で定員15名のお子様の保育を行っている。

「ベビーホーム・虹」・「虹の家」は、毎月、定期的に、ミュージックグループ“虹”さんが、ピアノの演奏・歌・読み聞かせ・ペープサート・リトミックなどしに来て下さっています。「虹の家」は、「園の歌」も出来ています。大好きなアンパンマンの歌などは、子どもは大張り切り！大きな声でうたい上げます！ 佐々木美佐子さん、中村ひろみさんや、最近では佐藤敦士さんくシュガークラウンさん、軽米からは、“つみ木クラブの安藤賢”さんは楽器遊びに、外国の打楽器持参で来て下さっている。「ベビーホーム・虹」も「虹の家」も地域に開かれた園です。

## 2-1 「ベビーホーム・虹」のコンセプト

ベビーホーム・虹は、震災以降子供を預けて働く保護者が増え、50人の待機児童を抱える釜石市が増加する保育ニーズに対応するため始められた施設で、市からの受託として3歳未満児の保育を行っている小規模事業C型である。

子育てと仕事の両立支援、多様な保育サービスの充実など社会全体で子育てを支援する必要性が高まっている中、釜石市でも平成24年8月からこの事業を開始。開始するにあたっての従事者は、保育者養成講座を受講し、全員市が認定する保育従事者で構成されている。

ベビーホーム・虹の運営にあたっては、常に釜石市子ども課と連絡を取り合い、お互いの情報交換をしながら保育園・幼稚園に入園できない子ども達の保育に日々従事している。

## 2-2 「ベビーホーム・虹」の活動実績

### 1) 「ベビーホーム・虹」の保育の特徴

ベビーホーム・虹の保育体制は、小規模保育C型に則った2対5・保育従事者2名に対して子ども5名であるが、市の認定を受けた保育従事者の他にC型の規定ではないが、国家資格の保育士と看護師も加わり安全・安心と一定の保育の質の維持に努めている。保育時間は、月曜日～土曜日までの7時30分～18時30分までである。

開所した8月の保育状況は、1歳児2人と2歳児1人の計3人であったが、平成26年3月現在、0歳児8人・1歳児2人・2歳児5人の計15人であり定員15人枠が全て埋まった状況で

ある。「ベビーホーム・虹」の子ども達は、0歳から2歳までの子どもの保育であり、月齢・年齢的には身体的行動力が大きく異なる。しかし、保育室が1室であることから全員が同室での生活であるため、注意深く見守るよう努めている。またそれは、お散歩でも同様である。

保育室が1室であることは、年齢別に区別できない難点ではあるものの、2歳児が0歳児の面倒を見たり、0歳児が2歳児の行動を真似てみたりと微笑ましい光景を目にすることも多々あり、刺激された発達も見られる有意な保育が出来ていることも特徴である。現状の保育状況を生かした保育を心がけている。

「ベビーホーム・虹」では、四季問わず子供たち全員裸足で1日を過ごす。また、0歳児から2歳児までのお散歩の様子は様々であるが、その子どもに合わせて雨・雪以外なるべく行うようにしており、抱っこをせがむ子もいるがなるべく自力での歩行も促し、体力づくりや発達の手助けになるよう努めている。

## 2) 年齢別発達課題

### ① 0歳児から1歳児の保育

- 一人一人の子どもの生活リズムを大切にしながら、眠いときは安心して十分眠ることが出来るように配慮している。
- 寝返り・はいはい・お座り・伝い歩き・立つ・座るなどそれぞれの状態にあった活動ができるよう安全に配慮し、手助け・見守りを行っている。
- 遊びにおいては、個人差が大きい時期であるため、一人一人の子どもの発育・発達状態をよく把握して、子どもの興味・意欲を大切にしながら見守っている。



### ② 2歳児の保育

- 衝動的な動作が多くなるので、子どもの行動に注意しながら楽しく過ごせるよう配慮している。
- 子ども同士のけんかが多くなるので、お互いの気持ちを受容し、分かりやすく仲立ちをして、他の子どもとの関わりを知らせるようにしている。
- 子どもが、楽しみながら全身や手を使う活動が出来るように配慮している。

### ③ 全年齢を通して

- 室内外の温度・湿度に留意して、子どもの健康状態に合わせて衣服を調整するようにしている。
- 一人一人の子どもの健康状態を把握し、37,5度以上時は保護者への連絡を行っている。
- 一人一人の子どもの心身の発育や発達状態を把握するよう努めている。
- 基本的な習慣については、それぞれの家庭の方針に沿って行っている。

## 3) 基本的な生活スケジュール

子どもの生活リズムを大切にしながら、保育を行っている。

- ・ 登園して直ぐに検温
- ・ 自由遊び・読み聞かせ・時々音楽教室
- ・ トイレ・おむつ交換
- ・ おやつ・水分補給
- ・ お散歩
- ・ 昼食
- ・ おむつ交換・お昼寝
- ・ おむつ交換・おやつ・水分補給
- ・ 自由遊び
- ・ お帰り

#### 4) 日中の生活の様子

- ・ 預けられた当初、泣いてばかりいた子ども笑顔が多くなり、自分の興味あるものを積極的に示すようになっている。
- ・ お散歩では、度々抱っこをせがんでいた子が、今では喜んで自力で歩いている。子ども達はみんな、お散歩が大好き。
- ・ お散歩に出かけると、近所のおじさんやおばさんがよく声をかけてくれる。手を振ってくれたり、駆け寄ってくれる方もいる。子ども達は、地域に温かく見守られ愛されていると感じる。
- ・ おやつ・昼食時は、子ども達がきちんと座り、挨拶ができています。初めは立ったり、挨拶もできない子がいるが、集団の中で徐々に身につく環境にある。
- ・ 0歳から2歳までの子どもが1室で過ごしているため、発達状態・行動範囲・興味のあるもの・生活リズム等それぞれ異なっているものの、お互いが自由に楽しめ個々に合った環境で過ごせるよう配慮し、事故等もなく過ごさせている。
- ・ 子供たちの成長は目まぐるしく、全く動けなかった子が伝え歩きするようになったり、歩けるようになったり、お話ができるようになったり、食事が上手くできるようになったりと、子供たちの成長を感じる。

#### 5) ピアノで遊ぼう

月に1度、佐々木美沙子先生やミュージックグループ「虹」の方々がいらして、ピアノに合わせて歌ったり、体を動かしたり、リズムに合わせて手を叩いたり、楽しい時間を過ごしている。音楽と音楽の間には、絵本の読み聞かせも行い、その間子供たちはきちんと聞いている。初めは、美沙子先生の顔を見ているだけだった子ども達も、徐々に音楽の楽しさに触れ自分を表現するように変化し、もうじっとしている子どもはいないほど、音楽が子供たちに浸透している。

#### 6) 給食

平成26年10月より、月・水の週2回農家レストラン・こすもすさんのお弁当給食を提供している。薄味で野菜をふんだんに使用・なるべく噛みごたえのある食材など、こだわり

を持って関わっていただいている。初めは、自分の大好きなものばかり入っているお弁当とは違い、中々ご飯が進まなかったのが現状だったが、午前中のおやつを水分だけとし、なるべく体を動かしてお昼まで過ごすなど試行錯誤した結果、今では子どもたちがみんなお弁当給食を楽しみにしており、殆ど残すこともなく食べている。今の社会では、ファーストフード・柔らかい食材・添加物・農薬などが当たり前の環境の中、食べるもので身体が作られ、これから成長する子供たちにとって身体に良い食事となり楽しいお弁当給食になっていると感じる。また、「ベビーホーム・虹」のお弁当を通して、各家庭の食のあり方も振り返ることができれば有り難い。

### 2-3 ベビーホームのスタッフ体制

市の認定を受けた保育者9名と保育士・看護師を含め、11人体制を以って、保育者2名で子ども5名を預かる、小規模保育C型を行っている（うち看護師と認定保育従事者の重複あり）。また、事務職として1名在籍し、会計処理や日々の必要書類の作成、月1度発行の通信を担当している。

8月の開所時は、保育従事者が慣れていないとこちら側が判断し、市にお願いして1歳児2人と2歳児1人の3人の預りからのスタートであった。8月の保育の実践と共に、連携協力で上中島保育園での保育従事者の派遣実習も9月に実施した。現在15人の預かりで、空きのない状況である。

登園時に保護者とのコミュニケーションをとり、お帰り時にも一日の生活の様子を記入した連絡帳を渡しながら、保護者とコミュニケーションをとり、保護者との信頼関係を築いている。

子供の健康面では、預かった時点で、顔色・体温・排泄状況などの観察を行い体調面の把握を行っている。市役所と感染発生動向の情報交換をしながら、感染症対策としても日々、おもちゃ・床・机・椅子等を塩素系の消毒液で拭き取りを行っており、窓を開けての換気にも配慮している。

保育園が決まった保護者より「ベビーホーム虹」に初めて子供を預けたが子供の成長を感じた。もっとこのまま良かった。”との嬉しいお声を頂いた。日々の保護者からの嬉しいお声は、保育従事者全員の励みになる。

### 2-4 アドバイザーの導入

平成26年10月より、月一回アドバイザーとして佐藤千喜子先生にお出で戴いている。10時から14時の間、室内遊び・お散歩・食事介助など一緒に保育を行っていただき、感じたことや相談など保育の質の向上のためにアドバイスを戴く。戴いたアドバイスは以下の通りである。

- ・ 子どものおやつが小袋菓子のため、量が多いのでは。
- ・ お散歩に出かけるときは、緊急手当用品を持参すること。
- ・ ロッカーの棚の上に物がある。昼寝中の安全を考え、ロッカーから離して寝かせる。
- ・ 寒い季節に向かい、いろいろな感染症対策を考えていたほうが良い。
- ・ 避難訓練を定期的実施する必要がある。

- ・ 食べる意欲をそこなわず、楽しい食事になる様に躰けることが大切。  
など

## 2-5 避難訓練の実施

- ・ 14時45分～非常ベルが鳴り、避難訓練開始
- ・ 欠席・早退が3人だった為、保育従事者6人・子供10人での避難訓練となった。
- ・ 初めての避難訓練であったため、保育従事者と子供たちの靴も出口に準備しておいた。また、それぞれ上着を身に付け、おんぶをして非常ベルが鳴るのを待つ体制とした。
- ・ 電気・ストーブ・エアコン・ポットなど全て消し、窓が閉まっているのも確認した。
- ・ 保育従事者6人全員がそれぞれ子供をおんぶし、4人の子供も一人ずつ手をつないで誘導した。手をつないでいない保育従事者一人が、おむつ・お尻拭き・ティッシュ・ビニール袋等が入ったリュックを持って移動した。
- ・ 出口は、ベビーホーム部屋側の戸からとし、非常ベルが鳴ると同時に戸を開けた。保育従事者から靴を履き、次に子供たち4人に靴を履かせ、園庭を通過して働く婦人の家の駐車場まで誘導した。(実施時間約7～8分)
- ・ 働く婦人の家駐車場に全員が到着した時点で、合同訓練実施機関の「すくすく」のやよい先生に全員避難したことを報告。
- ・ 当日の天候・・・午前中に雪が降ったが、実施時は雪が晴れ少し風が強い状態
- ・ 朝には凍っていた園庭も、朝に降った雪が溶けたせいもあり、かなりぬかるみを感じる歩きにくい状態であった。

## 2-6 「ベビーホーム・虹」の課題

全国のはぼトップを切っけて開始した「ベビーホーム・虹」は、マスコミを含め、各方面から注目されている。3歳までの子供の発達は著しい。この子らの成長・発達を出来るだけ保証していきたいと願うと、今後の課題として感じていることは以下の点である。

- ・ 小規模保育C型の2：5に沿って日々の保育を行って、スタッフの人数は、10人で数としては少なくないが、半日勤務者が多いので、今後保育士・看護師を含めた人材確保を課題としている。
- ・ 保育室が1室であるため、2歳児の運動範囲として散歩以外の場の確保が求められる。近隣の働く婦人の家で、「お散歩のできない雨の日には、空いていれぽどうぞ」と声をかけていただいているが、雨の日子ども達を連れて行くことが大変である。

## 3. 子育て支援会議

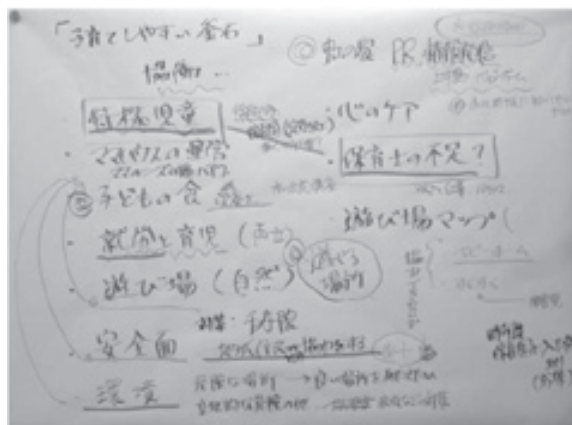
### 3-1 第1回 子育て支援会議：平成27年3月4日（水）13:30—15:00

子育てしやすい釜石に向けての課題・問題点を協議した。



話題となった課題は、

- ・待機児童問題について
- ・ママの就労と育児支援について
- ・子どもの味覚を育てる食の問題について
- ・こどもの居場所について
- ・保育所・病院等、釜石では有資格者の確保が十分でない。
- ・こどもの心のケアが必要だがどうなっているか？

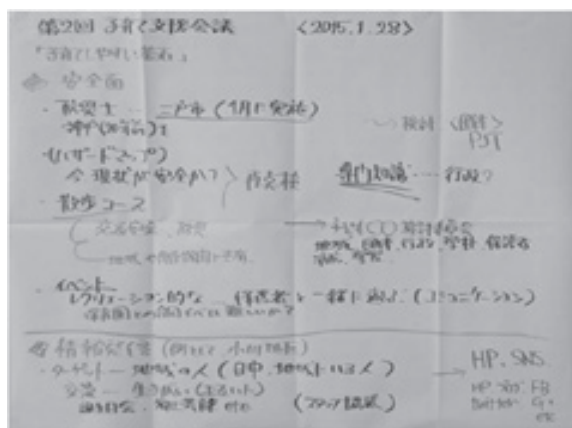


### 3-2 第2回子育て支援会議：日時 平成27年3月4日（水）13:30—15:00

今回は、安全について、議論が集中した。

#### 防災士養成講座

- ・ 防災士の養成講座が、宮古や二戸でも 2 月 24-25 日にかけて行われたようだ。
- ・ 民間資格だけれど、これなんて講座を開講も良いね。
- ・ 釜石でも、数団体の NPO 等との協働で開講するのも良いのではないかと？
- ・ 「ママハウス」も地域に貢献できる人材育成は課題としている。
- ・ 山が削られているが、安全上大丈夫か？



#### “散歩コースの安全マップ作り”と“家族・地域との触れ合い”

- ・ 「虹の家」が今日の配布資料にあるように、散歩コースの安全点検を行っている。「ベビーホーム・虹」もコース点検している。
- ・ 以前、交通安全教室で散歩コースを警察と一緒に歩いたことが有るが、警察の協力を得ることも良いと思うよ。
- ・ 子供も喜びそうだね。お巡りさんが好きだから？
- ・ 地域の高齢者と、桜の時期など、土手を散歩したりできると良いね。高齢者と交流できる。
- ・ 「ベビーホーム・虹」・「虹の家」の散歩コースを、親子で歩いてみるというイベントはどうだろう？
- ・ 安全マップ作りは地域を巻き込む。
- ・ 「ベビーホーム・虹」はいざという時、何処へ逃げるかの確認と、ご家族もいざという時の逃げ場所を家族の皆が知っていたほうが良いから、家族の安全マップ作りも良いね。

### 3-3 第3回子育て支援会議：日時 平成27年3月4日（水）13:30—15:00

前回からのふりかえり（ママハウス、情報発信、就労と育児、遊び場、環境・安全面、防災士、ハザードマップ、子どもの居場所）後、予定の検討テーマ「子どもの食について」「子どもの居場所」について、KNKのバスの取り組みについて

- ・走るKNK子どもセンター

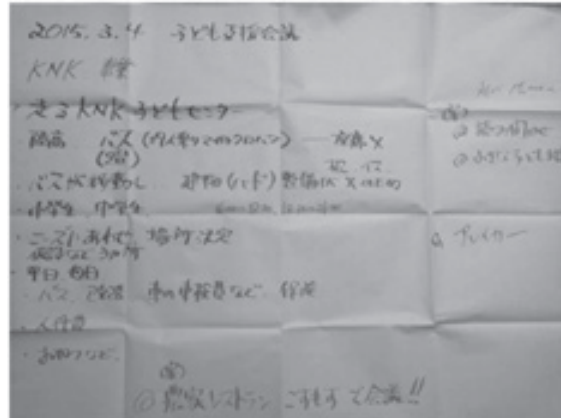
陸前高田で行っており、バス2台（29人乗りマイクロバス）使用

座席を取り払い、机と椅子を置いている。

小学生と中学生が対象で、ニーズに合わせ場所決定し仮説など3箇所で行っている。

平日毎日で、4時～6時半小学生・6時半～9時中学生としている。仮設等では大変なため、勉強する場所として提供し、今までで15000人程が利用している。

勉強の場所としてばかりでなく、読み聞かせ・小さな子供の広場・おばあちゃん達による読み聞かせ等もあっても良いねとの意見交換をした。次回は、子ども目線での公園散策も含めて、こすもすさんでの会議の提案があった。楽しみ！



## 第3部 花巻ママハウス

### 1. 開設の目的

生きづらさを抱えるシングルマザー等、必要な支援にたどり着けないママたちをサポートしようと、花巻市上小舟渡 272-1.8に、「花巻ママハウス」を開設。一口に生きづらさと言っても、その葛藤40の程度はさまざまかと思いますが、相談者も被相談者も信頼関係（一定の関係性・人間関係）が安定されて、初めて相談も可能となると思います。そこで、インストラクターの資格をお持ちのママにお願いし、まずはセルフ・ケアのセミナー（ベビーヨガ・ベビーマッサ



ージ・ドリームマップ作り・フェイシャルエステ・・・)を開催し、ママ同士のつながり、共感・交歓の場としてのママの居場所となる空間づくりから事業をスタートさせた。

## 2. 事業内容

「花巻ママハウス」のサロン・ママカフェでは、「子連れでゆっくり外で食事できない」・「外出で、おむつ交換もままならない」という声を良く聞く。「花巻ママハウス」は8畳2間・6畳2間と広いキッチンが有り、畳の部屋は自由にハイハイもできます。また、どなたの目もはばかることなくおむつ替え・授乳等できる空間です。弁当持参で寛いでいただくも由。ママたちが自由にお使い戴ける空間として、居場所空間・実家機能を目指している。

以下が、開設以来の利用者数である。

☆平成26年度 利用者数台帳												
利用者総数台帳(ママハウス来所者・外部講師・ボランティアスタッフ・その他関係者)												
	大人総数		子供		うちママ・一般利用者		うち講師		うちスタッフ・ボランティア		うち視察(取材・他団体等)	
	大人	累計	子ども	累計	母	累計	講師	累計	協力者	累計	視察	累計
6月期	30	30	6	6	8	8	1	1	18	18	3	3
7月期	63	93	41	47	47	55	7	8	6	24	3	6
8月期	62	155	45	92	49	104	8	16	2	26	3	9
9月期	46	201	31	123	32	136	9	25	4	30	2	11
10月期	69	270	25	148	30	166	9	34	23	53	6	17
11月期	43	313	29	177	43	209	11	45	1	54	0	17
12月期	26	339	21	198	21	230	3	48	1	55	1	18
1月期	35	374	20	218	30	260	3	51	0	55	2	20
2月期	60	434	40	258	44	304	9	60	1	56	1	21
3月期	36	470	25	283	30	334	6	66	0	56	0	21
計	470		283		334		66		56		21	

### ①ベビーマッサージ&赤ちゃんヨガレッスン

7月よりベビーマッサージ、赤ちゃんヨガの講座を開催。月に4回開催し沢山の方に参加して頂く。スキンシップをとりながら、聞いたことのある童謡に合わせて親子で身体を動かす赤ちゃんヨガや、タッチケアを兼ねたベビーマッサージでふれあいの時間を過ごしながらかお子さん以上に保護者自身がリラックスされた。

講座では赤ちゃん同士の裸の付き合いを通して保護者も自然と打ち解けていき、おしゃべりが弾みました。子ども中心の話題から、保護者自身の話題になり、今感じていることや何気ない不安を口に出して発してくれることも増えていきました。

親子のふれあいを楽しむと同時に、この講座は保護者にとっても母として、女性としてつながりを深める機会になった。

(講師の声 高橋恵美氏 (ベビーマッサージ・赤ちゃんヨガインストラクター))

### 参加者の声

- ・月齢の近い赤ちゃんや少し上の赤ちゃんを見たり触れたり関わったりして楽しい刺激になっているように思います。
- ・出会いの場としても、この講座はとてもありがたい場だなとしみじみ感謝しています。

### ②お茶ベリアロマ

夏と冬にアロマミスト作りの講座を開催。アロマになじみのない方にも気軽に参加して頂けるように「お茶ベリアロマ」と題し、お茶を飲みながら、夏は虫除け対策アロマミスト、冬はウイルス対策効果のあるアロマミストを作った。子どもとの生活に取り入れやすい内容だったので、アロマに触れるのが初めての方も関心をもって参加して頂けた。

何より嬉しいことは、アロマの講座を通して初対面同士の方も好きな香りのことから話題が自然と広がっていき、子ども中心の生活から少し離れて、自分の為にアロマを選ぶという時間を楽しんで頂けたことだ。香りを嗅ぐだけで心地良いというお話や、「普段できにくいことを少しでも楽しめる」「短時間でも自分のことに没頭できていい気分転換になる」と講座の感想である。

普段子育てに追われることの多い方ママにとって、いつも後回しになる自分の時間をもつことがとても大切だと感じており、アロマ講座は短時間でもほっとできる空間、自分を大切に感じる時間を提供でき、子育てを応援できる講座になったと感じる。（講師の声）

### ③ドリームマップ

昨年の春から、ママハウスで「ドリームマップ」を開催。最初は若菜さんをはじめ、ママハウスのスタッフの皆さんに体験していただき、その際に作った「ドリームマップ」は今も、施設内の廊下に貼っている。その後一年間、ママさんたちやお子さんたち（親子ドリームマップ）にも体験してもらった。最初は「ドリームマップって何？」とわからずに参加された方もいらっしやったのですが、だんだんと笑顔になっていく！

ワクワク夢中になり、写真を切ったり貼ったりしていた。新人ママさん、ママさんに限らず全ての方が、生きていく上で、色々なことに遭遇していくでしょう。どんな状況でも「元気な心」でいること！そこに気付いて欲しい、そのヒントになってほしいと願い…

たくさんの方に、今後もワークショップをお届けしていきたい。講師 籠谷睦美氏の声（一般社団法人ドリームマップ普及協会 ドリームマップ認定講師）

### ④ベビーダンス

今の時代、核家族化や少子化が進み、地域の繋がり希薄化によって、子育てが孤立化し、不安感や負担を感じている方も多いと思います。花巻ママハウスのように、子育て中の方たちが気軽に集まることができ、色々な講座やママ同士の情報交換できる場所があることで、精神的な不安が解消される方も多くいらっしゃると思う。

今後もベビーダンス・インストラクターとして、親子の絆が深まるお手伝いできればと思っ

ている。〔講師の声 浅沼美季氏 日本ベビーダンス協会認定インストラクター〕

### 利用者の声

- ・ 短時間だけど、かなりいい汗をかきました！普段運動することが少ないので、とても良いストレス発散になりました。
- ・ 簡単なリズムで、やっているうちにすぐ慣れました。楽しく、子供も寝てくれてとても良いと思いました。
- ・ 赤ちゃんも心地良さそうだし、自分の運動不足解消にもなりました。もっと色々なステップを覚えたいです。
- ・ 手遊びからストレッチ・ステップ・最後の深呼吸まで、どれも楽しく身体に気持ち良い運動で、いつも楽しくやらせてもらってます。

「サロンパートナー＝担当者の声」

赤ちゃんが気持ちよさそうに寝てしまったり・ご機嫌になったり、ママ達の運動不足解消になって、レッスン後には皆さんスッキリとした表情をされていたのが、印象的でした。

月1回のペースで参加していただいているママは、お家でお子さんの寝かしつけにレッスンで覚えたステップを取り入れてくださり、「卒乳をベビーダンスでやっています」という嬉しい感想もいただきました。

### ⑤いちまいアルバム

子連れでも参加でき、少しでもママ達の趣味のお手伝いになれば…と、花巻ママハウスでも月に一度のペースで開催している。

内容は写真台紙に写真を貼り、シールやスタンプなどで思い思いに飾り付けをする…という簡単なものだ。子ども達が周りでスタッフと遊んでいる間に、ママ達はおしゃべりをしながら和やかな雰囲気で作作している。「ほんの少しの時間でも、子どもと離れて趣味の時間を持つ…という機会がなかなか無いので、夢中になれたし本当に楽しかったです！」という声をいただき、嬉しい限り。

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋

いきいきお手伝い相談活動事業

### 「花巻ママハウス」女性なんでも相談

ひとりで悩んでいませんか？

- ・子育ての心配や不安
- ・夫婦、親子、姉妹など家族間のこと
- ・ご近所や職場などの対人関係のこと、その他、人に言えない悩みがあるとき

協力が講師 基石ひまわり基金法律事務所 加藤静香先生

- 子どものこと
  - ・ イライラして、つい子どもしまう
  - ・ 落ち着きが無い
  - ・ 親の言うことを聞かない
  - ・ 習められてるようだ・・・
- 離婚のこと
  - ・ 夫が浮気をしているかもしれない
  - ・ 夫と離婚したとして女手ひとつで子どもを育てられるか心配
  - ・ 離婚するときに夫からお金をもらえるのを知りたい・・・
- DVのこと
  - ・ 夫から叩かれたり物を投げつけられたりする
  - ・ 夫から悪口を言われて傷ついている
  - ・ メールをたくさん送って来る人がいてこわい
  - ・ ストーカーされているかもしれない・・・
- お金のこと
  - ・ 消費者金融から借金をしたけれどお金を返せない
  - ・ 知らない業者から請求書などの手紙が届く
  - ・ 何処に相談したら良いかわからない・・・

☆電話相談  
心の中にある悩みを誰にも気がおねすることなく、どこからでも相談することができます。  
電話 0198-29-6800  
土曜日の午前10時から12時、午後1時から3時(借し年末年始、祝日を除く)

☆来所相談  
電話 0198-29-6800 へ予約して来所下さい。  
土曜日・月曜日の午前10時から12時、午後1時から3時(借し年末年始、祝日を除く)

☆メール相談 [mamahouse\\_soudai@mail.com](mailto:mamahouse_soudai@mail.com) メールは24時間受け付けております。  
「女性なんでも相談」のメールフォームは <http://hanasaki-mamahouse.jindo.com/> 相談室にあります。  
特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋 <http://ni.jinokai.jindo.com/>

いちまいアルバムは、毎月一枚ずつ作ることで、並べて飾ると我が子の成長が一目瞭然になります。目標は継続して参加していただき、ママハウスにて展覧会をしたいと思っている。講師 中村湖帆（「いちまいアルバム」・花巻ママハウス サロンパートナー）

## ⑥リサイクル交換会

ご利用者様より、「子ども用品の交換会があったらいいですね」というお声をいただいたことがきっかけとなり、「リサイクル交換会」を実施する運びとなった。

「家ではもう使わないけれど、譲り先が見つからない・・・でも捨てるのはもったいない！」という子ども用品をお持ち込みいただき、交換会当日においで下さった方々に、それぞれ気に入ったものをお持ち帰りいただいた。子ども用の衣類や育児用品ばかりでなく、未使用の紙おむつや授乳服等もご提供いただき、初めての交換会は大盛況のうちに終了。チラシを見て事前にお問い合わせを頂戴したり、これまでママハウスをご存じなかった方にもお越しいただいたりとの効果が有った。

フリーマーケットとは異なり、無償でお持ち帰りいただく為、「もらってばかりで申し訳ない・・・」とおっしゃる方もいらしたが、リサイクルの輪も広がっていけば良いという思いで、遠慮なくお持ち帰りいただいている。

## 3. 「女性なんでも相談室」事業

非正規雇用が拡大し、多くの方が低い給与で生活する中、生きづらさを抱えている人が増加している。また、方が孤立化していく傾向の見いだせない状況も生まれている。また、積極的に外に出ていける人は良いのだが、相談に出向く足は重いと言う傾向があると、有効な支援がご本人に届かないというもどかしさが生じる。

結果、従来の支援の有り様では、それらの方々を支えることが難しくなっている。

シングルマザーや若い女性の生き辛さを抱えるご本人には、その問題に合わせて、本人の課題を総合的に捉えられる相談活動を行っている。誰もが居場所と役割を持ち、地域の中に連帯感・信頼感を産み、生きづらさを生きやすさに変え、幸せに生きることができるよう、「女性なんでも相談室」は相手にしっかり寄り添った相談活動を行って行く。

### 3-1 「花巻ママハウス」の目指す方向

課題解決につながる団体のご支援や交流などを戴きながら、生きるに優しい地域づくりを願っている。賢治の“全体が幸せで無ければ個人の幸せは無い”の言葉を生んだ花巻を、“誰もが尊厳を持って生きていける街・地域が人に優しい街”づくりの一端を担うことを目的としている。

相談室開設間もなくでもあり、目下の相談実績は以下の通りである。



### 3-2 実績

当初、電話相談は土曜日、月曜は来所相談としてきたが、3月からは、相談は月曜・土曜に複数体制で、電話・来所を共に行っている。相談員は3名で、1名は認定心理士であり、足立区で福祉の現場でケースワーカー・福祉事務所長として、また、生活相談員等の経験者、1名は、北上市で婦人相談や就労支援活動の経験者、あと1名は高齢者や障がい者施設でスタッフとして、施設長としての経験者である。

他に、相談を支える人材として、協力弁護士として、釜石ひまわり基金法律事務所の加藤静香氏のサポートの他、を得、本人の状況に沿った支援を考え、本人とともに動く相談活動を目指している。そして、関係機関・団体との連携で、生きやすい地域を創って行けるような相談事業を目指している。

相談の状況 「母と子の虹の架け橋」 3月31日現在現在			
	実数	延相談者数	相談内容(相談者の主訴)
電話相談	8	8	不倫1、不登校2、借金1、子育てI、病気1、家族関係1
来所相談	10	29	DV2、離婚3、不登校1、病気2、仕事上の不安・トラブル3、子育て2、住まい1、家族関係1、仕事探しと就職3、借金1、不倫I
メール	1	2	離婚1
計	19	39	

\* 実数=実人員、延数=延べ人員

## 第4部 事業評価と組織

### 1. SROI 評価を導入して

「母と子の虹の架け橋」利用者アンケートを回答受付期間を 2015 年 2 月 10 日にして、釜石で実施した。対象者は、「釜石ママハウス」、「ベビーホーム・虹」、「虹の家」のご利用者だ。

「ママハウス」・「虹の家」・「ベビーホーム・虹」の存在への感謝の言葉がつけられていたが、ママハウスのイベントなどの広報については、工夫の余地が有ることが分かった。また、「虹の家」の存在を市が伝えて貰えていないことへの不満の声が有った。この点については市と一層の連携を取りたい。

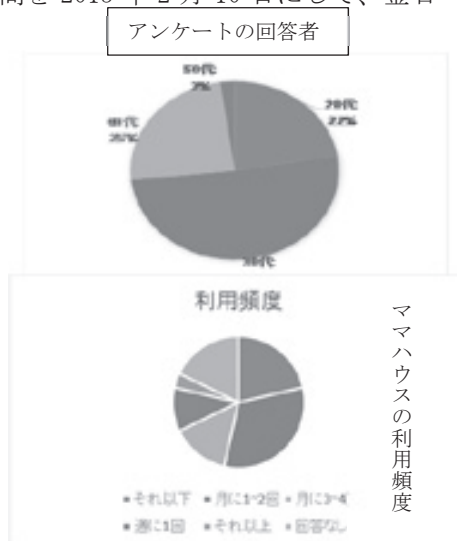
以下、アンケートの回答を抜粋で記載する。

#### 【本人のこゝろ】

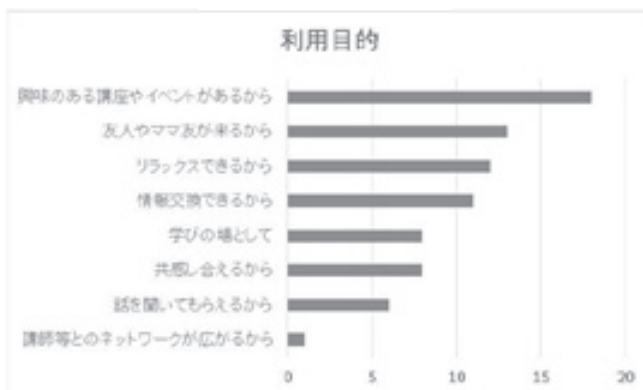
病院では、母乳育児をすすめているのに保育園ではミルクじゃいけないところが多い。早朝・夜間等の保育機関が欲しい。市内に病児保育がなく、近くに頼る人がいないため休む場合、父母のどちらかが休むことになる。どちらも職場に迷惑をかけてしまうので(職場に理解はあるものの…)病児保育があると助かる。病気の時こそ、子供のそばにはいたいのですが…。毎日ではないが、年に数回、夜の仕事の時に子どもを安心してみてくれる人・ところ。離婚し 1 人で子どもを育てていくことに

少し困難を感じる事がある。自分が体調をくずした場合、保育が困難でも、園まで連れて行ってくれる人も居ないので、結局は自分で世話をしなくてははいけない。夫の仕事が不規則で、睡眠時間が少なく体力がない。病気になると、自分の仕事を休まないといけいので、不安。車がない(1台しかないので、週 2~3 日しか働けない)。子どもが小さい為、正社員で働くことが難しい。子供を保育してくれる施設が増えてほしい。仕事と育児の両立の難しさを感じている。

現在の仕事には問題ないが、資格など自分のキャリアアップにもなる事をしてあげばよかつたと思う。スキルアップと健康維持が課題です。優しさと強さを併せ持つのはかなり難しいことです。パートの給料、時間。長時間の就業は体力的に負担が大きく、家事が疎かになってしまいう。帰宅後、なかなか自分の時間を取れないこと。どのお母さんも乗り越えてきたことだと思うので頑張ろうとは思っている。



ママハウスの利用目的





## 【仕事に対して】

あまり資格を持っていない。いつかは資格を取りたい（調理師）。スキルがない。

パートタイムでも、時間で保育料が発生したりするので、働いた時間より保育料のかかる時間が長くなってしまふ。遅くても7時までしか預かってもらえないのに終わる時間が遅く間に合わないので仕事を続けるのが難しい。子育てをしながら仕事をする為のフォローをしてもらえような社会になればなと思います。

フルタイムで働けない（パートナーや子育て（幼稚園）の制約が多いため）。非常時でも家庭より仕事が優先になるので…子どもが早く大きくなってくれればと思う。家業なので無理を言えないところもあって定休日以外は休みはほぼ無く大変。子育てしやすい環境になってほしい。Ex. 休みなど取りやすい、残業をあまりさせない、9:00~16:00など時間指定しても働きやすくしてほしい。急な休みを取りにくい。会社の待遇が良くない。（育休・産休）託児所付きの職場なので、とても助かっています。そういう所が増えてくれたらママ達も働きやすいと思う。子供が熱を出したり、病気になったり、急に休まなくてはならない事が多々あり、職場に迷惑をかけ、自分もマイナス思考になってしまう。

小さい子供がいても、のびのび働ける社会になってほしいなあとと思います。早出や残業、交代勤務が出来ない。有給休暇の使用が増える。人数が早く増えて土日に休みが取れるようになってほしい。働きたい母親は現在たくさん居ると思うので、子育てしながら働きやすい職場環境を充実させて欲しいです。

## 【子育てに関して・家庭的なこと】

実家が遠いため、平日、自分の用事があれば主人に休んでもらっている。子供が、興味がありそうなイベント事には、時間があれば参加できれば良いなと思っています。週1くらいで通っていた保育園に行く予定が、働いていないのでそれも難しくなり、子どもに、「行きたい」とダダをこねられるときに何と言ってあげれば良いのか困ります。放課後の子供達の学びの場がほしい。夫との家事・子育ての分担についての考え方のすり合わせ、毎日毎日同じような兄弟げんかなどに寛容に接することが難しい時もあり…、子育ての大変さを知ってほしい。ベビーシッターのように、ちょっと手伝ってくれる人がいたら良いなあとと思う。

家の周囲で小さい子どもの友達がいないので、兄妹間での遊びが主になってしまうので、休日の支援行事のようなものがあつたらいいなあとと思う。旦那の仕事が遅いので、子育てはほぼ一人でしていること。風邪の治りかけの時などに、もし預かってもらえると助かる。頼れる人が近くにいないこと。病児保育が難しい。病児保育の利用に不安。たまに夜を面倒見てくれる人がいたら嬉しい。病気にかかってしまったら、仕事を休まなければならないが、病児保育について詳しく知る機会、方法があれば良い。体調不良になること多々あり、病児保育利用は手続きが多すぎるように思えて面倒。他の病気をもらうのではないかという不安もあり利用する気になれない。病児保育のさらなる充実、受け入れが少ない。病気した時に預かってくれるところが増えてほしい。実家が遠いのでなんかあつたときが大変

### 【子育てに関して・社会的なこと】

保育料が驚くほど高い。スポーツなどもっと力を入れさせたい。待機児童を解消してほしい。少子化と騒がれている中、子供達に対する支援を手厚くしてほしい。保育園⇔家庭保育での支援の差が有り過ぎる。子どもたちには、たくさんの自然体験など、色々な経験をさせたい。日曜・祝日に託児してくれる施設がないのが困る。交流の場を多く作ってほしい。転勤で来ているため、知り合いが少ない。土日祝日も保育ができる所があるとありがたい。待機児童が減るような対策をぜひお願いしたい。

### 【その他】

今まで仕事・仕事だったので、時間的に子供と過ごすのを増やしたいと考え、職種を変えることを検討中ですが、娘にもとの仕事に「行かないの？」と聞かれると気持ちが揺らぎます。月齢の低い子どもを預けることが難しいので困っている（保育所の定員、託児料金など）。市から3歳以降は幼稚園入園をすすめられるようだけれど、現状で幼稚園では振休・長期休み等があり、協力してくれる人がいなければ仕事は出来ない。年中無休の職場なので、土曜日の半日だけでも利用できるようなシステム考えていただけると助かります。

土曜日「虹の家」で保育があると助かる。（来年度4月～土曜日も勤務に多く出勤しなければならぬ。子供が小さい時、頼めるようなシッターさんのような方がいらっしゃれば、お母さん方の負担が少し減ることもあるかもしれないですね（ヘルパーさんみたいな）

### 【あなたが今就労に必要な講座・訓練などの希望講座】

宅建を勉強中なので集中講座などをしていただけたら。簿記の勉強が出来れば、スキルアップして仕事の質も上がると思う。秘書検定、メンタルヘルスアドバイザー。英語を楽しく学びたいです。パソコン講座。幼児救命救急講習。建設事務士 2 級（自分がとらないとないだけ）。時間のつくり方の講座を開いて欲しいです。（1日24hしかないので、時短テクニックなど。）基本のワード・エクセル・パワポなどの講座。接客マナー、家庭でできる仕事の活用法、内職やサロン etc 速記、書道、介護関係、ヘルパー、接客などでも使えるマナーや話し方の講座。事務も資格とか。

### 【今後の「母と子の虹の架け橋」に対する意見・要望】

またヨガがあれば、予定が合えば参加したいです。一番子どもが4月に小学生に入るので、託児をお願いすることはなくなるが、ママハウスがあるということで、何かあったらママハウスに行けると思って過ごすことが出来て、本当にありがたかったです。駆け込み寺のような存在でした。ありがとうございました。臨床心理の先生の講座とても良かったです。女性として、前向きになれる講座があり、感謝しています。色々なノウハウを身に付け、自信を持って、社会参加ができるようになりたいです。良く考えたことと思います。

いつもママたちのサポートをしてくれる頼りになる団体です。子育てを経験できるのはとても素晴らしいことで、同じような仲間と優しく心を通わせられる機会を頂いていることに感謝しています。いつもお世話になっております。毎日通う中で日々成長している姿が感じられとても感謝しております。やりたいことをやれる。母と子の虹の架け橋でいつもあってほしいです。

公民館など1日だけ来るなど、仮設の談話室でも来ればもっと親しめる。就労に必要な講座があるのは、自分のスキルアップにもつながりとても助かります。転勤などで釜石に来た人が利用しやすいと助かる。市役所などのHPなどに情報があつたりするとわかりやすい。子どもと一緒に遊べる手遊び歌や、息抜きにネイルなども良いと思います。小さい頃、本当にお世話になりました。狭いけど、あたたかくいつも優しく迎えてもらいました。震災後まもなかったのが、本当に支えていただきました。感謝しています。行事や講座が、いつ、どのように行われているのかわからないのでDM・メール・ブログなどで内容が知れるようになれば様子がわかりそうなので利用しやすくなるのかな?と思います。これからも子供たちが、共同生活を通して色々なことを学べて、成長していける場であってほしいと思います。先生方もどの先生もとても良い方で良かったです。職場復帰でママとのつながりが少なくなってしまう為、土曜日などには、ママハウスに行ってみたい。

#### 【虹の家、ベビーホーム・虹】

私が利用していた頃、資格取得の為、バスで子どもを抱っこして通っていました。その時に「虹の家」の方々から、丈夫な抱っこひもを提供していただき、とても助かったことを覚えています。子どものことだけでなく、そういった配慮をしていただいて、暖かい気持ちになりました。「虹の家」があったおかげで、仕事もできること出来、本当にありがたかったです。これからも働く方々の力になっていただける事願っています。お身体に気を付け頑張ってください。働きたくても子供を預ける所がなく困っている人がまだたくさんいます。今後も釜石での活動をして頂きたいと思います。又、託児施設（虹の家）を知らない人がいます。市に行っても教えてくれません。私の自分で探して虹の家を知りました。多くの人に知ってもらえる様な活動をお願いします。保育園入園までの約一か月、産後、仕事復帰をするにあたり、虹の家を利用出来たこと、又、生後五か月の子供を安心して預けられたこと、本当に感謝しています。あの一か月がなければ、たぶん復帰は出来なかったと思います。今後も、就職のみならず、頑張るママたちのリフレッシュにもつながる活動をこれからも続けていってもらいたいと思います。その場だけでなく、他の地域に出向いて利用方法など広めてほしい。

優しい先生方に囲まれて、楽しく通っています。以前に（まだ0才の時）2時半頃送りに行ったとき、先生方が遊具のブロックを1つ1つ丁寧にふいていました。その場面をみて、ここまできちんとやってくださっているんだなあと感激しました。これからもどうぞよろしくお願い致します。子どもを預かっていただき、さらに早く慣れるようにやさしくていねいに対応してもらっていることに感謝しています。4月以降は認可保育園を考えていますが、せっかくなら、慣れた場の方がいいなあとも思います。保育料のこと、給食の回数のこと…考えたいと思います。唯一の要望とすれば、給食の回数を増やしてほしいことです。

給食の日数を増やしてほしい。

## 2. 学ぶ・繋がる

継続的で安定的なNPOとして運営していくためには、活動の先進性・効果性・波及性など事

業内容がミッションに的確に反映された活動をすることだが、そうした事業を目的地にしっかり運んでいくには、組織がしっかりしており、乗組員が元気で生き生きしてないとならない。そのために、スタッフの学・繋がるが必要で、2014年度の「母と子の虹の架け橋」は、以下の研修を取り組んできた。

## 2-1 組織運営のための実務研修（委託研修・派遣研修）

- ① NPO 法人会計・・・シニアパワーの研修（県の委託事業）の参加
- ② NPO 法人の各種諸届・・・事業報告書他（県南広域振興局・県法務局に提出）
- ③ 毎月の給与支払い事務と年末調整事務・・・シニアパワーに一部事務委託、

## 2-2 専門研修（自主研修・派遣研修）

### ①相談員養成派遣研修

～「花巻ママハウス」における、相談事業の有効な支援を目指して～

地域には、生活課題を解決できるいくつもの社会資源が整っている。しかし、孤立している状況で、生活課題をいくつも抱えた母子は、有効にそれらにアクセスできないでいる。課題を抱えたご本人を総体にとらえて、縦割りの個別メニューの社会資源を、寄り添った相談をしながら、DVの問題、家族の問題、健康の問題など、包括的に相談に対応できる相談員を育成することを目的した。

日時： 2014年12月2日(火)～4日(木)

会場： あすくら宮古 〒027-0074 宮古市保区田1-19

内容：

個別的、継続的、制度横断的に寄り添う伴走型の生活再建支援を実施するうえで必要な分野の知識を、あすくら宮古の吉田直美氏（副理事長）に、「生活困難者支援法 自立相談支援事業 従事者養成研修テキスト（中央法規）」をベースに、要点の解説及び質疑、並びに、あすくら宮古の専門員も加わり、ケース検討を行った。

### ② NPO・行政機関との連携専門研修への派遣研修

26年度は、釜石内で行われている外部機関実施の研修に派遣したほか、積極的にNPO等の会議に参加し、課題の共有及び連携の下地作りを行った。結果、ママハウスの講座等のイベントは共同開催に至るものが生まれた。今後もこうした連携を行って行く。

#### 【研修会等の参加状況】

定期的会議では、「母と子の虹の架け橋」が監事をしている平田仮設団地協議会、釜石地域まちづくり連絡会議の提起参加している。また、釜石の託児・保育の実施に伴う“子育て支援会議（@リアス・保育アドバイザー・ベビーホーム虹・虹の家・上中島保育所・コスモス）”を主宰させて頂き、子育てについての提起協議の場設定や、花巻市地域子育て支援活動課団体等の情報交換会のほか、派遣研修としての活用では、助成金の支援機関である日本NPOセンター主宰の支援者のためのリフレッシュプログラム、“チームビルディングで想いを一つに”の講座、会計処理の委託先であるシニアパワーのNPO会計入力等の現地指導、上中島保育所にての保育従事者派遣

研修等々の参加・実施を行ってきている。

マルチステーク・ホルダーが、「母と子の虹の架け橋」の活動にとっては、課題の達成及び組織の発展にはメインストリームであることを実感する日々である。

### 3. 「母と子の虹の架け橋」の課題

2014 年度は、新たに「ベビーホーム・虹」及び「花巻ママハウス」の開設で、日常業務や財政規模が拡大を示している。そこで、コンプライアンスに沿った運営をしていく必要を自覚し「母と子の虹の架け橋」の事務局体制構築した。

#### 3-1 事務局の強化

- ① NPO 法人会計・シニアパワーへの監修委託とスタッフへの実務指導
- ② 毎月の給与支払い事務と年末調整事務・シニアパワーへの一部委託

定款変更等に伴う各種諸届（県南広域振興局・県法務局に提出）及び、各種社会保険・税等の諸届については、タイムリーな申請等事務に遺漏無きよう事務局の強化を進める。

#### 3-2 認定特定非営利活動法人化志向

自主財源の強化に向け、県の助言を受けながら、認定化へ向けた事務整備に取り掛かっている。

#### 3-3 理事会の定例化と業務の改善

##### 【理事会の定例化】

① 理事会の隔月開催を目標にしながら、理事会とスタッフの一体性を目指す。スタッフは、ニーズを捉えて、課題点等を共有しながら、出来ることを明確にし、受益者＝ママ・講師・ボランティアにも分かる形で提案し、事業目的を実現させる。

##### 【業務改善】

① 情報の共有と意思決定のスピード化・・・「藤沢市市民活動推進センター」から提供頂いた再生 PC を各スタッフに割り当て、業務のクラウド化に取り組み、情報の共有と意思決定のスピード化を図る。

② 業務日誌の記載励行・・・業務内容欄の他に、戸惑っていることの記載欄を設け、悩みやトラブルの早期発見に努めるために、業務日誌の記載励行

③ データの数値化・・・必ずスタッフは依頼された業務の進行状況を業務日誌に書き報告する。繰り返し（ルーチン化した）業務は必ず日程を守る。データの数値化と公表、通信の日程を守った発行と配布、

④ 事業目的の実現・・・スタッフからも企画提案を出して、各事業所内で議論し、課題点等を共有しながら、出来ることを明確にし、受益者＝ママ・講師・ボランティアにも分かる形で提案し、事業目的を実現させる。

## ☆業務日誌

- 4月14日 岩手めんこいテレビ取材受ける。放送5月11日21:54から3分間
- 4月17日 ニチイ学館と保育者養成講座の開設の事前打ち合わせ
- 4月19日 釜石ママハウスのスタッフの歓送迎会 会場【魚民】
- 4月22日 SAVE・IWATE フードバンクについて内丸分庁舎にて状況の聴き取り。
- 4月25日 子どもサポート基金 2014 上半期助成認定式出席
- 5月1日 「花巻ママハウス」第2回準備会開催 賛同者3名参加
- 5月6日 「花巻ママハウス」上小舟渡に開設準備のため荷物搬入
- 5月24日 「母と子の虹の架け橋」の26年度第1回定期総会開催  
会場 釜石平田仮設団地 談話室、早坂毅氏出席
- 5月26日 富士大学 「母と子の虹の架け橋」の活動について、NPOの科目履修学生に対しプレゼン
- 6月3日 パープルリボン講座開講
- 6月4日 「花巻ママハウス」オープン
- 6月6日 野田市長、25年度 「ママハウス」と「虹の家」、「子ども広場」の事業報告  
市長室、出席:若菜・岩間
- 6月11日 日本NPOセンター・ママハウス事業の成果報告会にて報告出席 大手町サンスカイ  
ルーム
- 6月13日 ドリームマップセミナー 第1回目「花巻ママハウス」にて、潜在的意識の発見・3  
年間の行動宣言 先ずはスタッフセミナーで体験 籠谷 睦美講師
- 6月18日 ホテルサンルート福島
- 6月22日 活動計画を考える 仙台市『岩沼屋』地域創造基金みやぎ主催に出席
- 6月25日 搜索農家コスモスの藤井氏にベビーホーム虹の給食の受託の相談
- 6月26日 吉成信男氏東欧のレポート報告会 鯨山ガーデン 保坂・若菜・山野目参加
- 7月2日 保育者養成講座開、以後毎週水・木延べ8回開講
- 7月6日 「お産と地域医療の会」総会出席 「お産と地域医療の会」の組織継続決定
- 7月13日 岩手県「サポーター会議」先輩サポーターとして体験発表  
学び学園に於いて  
26年度第1回拡大理事会 花巻ママハウスにて 19時から
- 7月23日 東日本大震災復興支援財団聴き取り調査 盛岡メトロポリタンホテル
- 7月24日 松本和子氏の女性相談の講座開講・保育者養成講座講義型講座の閉講式開催
- 7月28・29・30日 保育者養成講座 保育所・虹の家実習体験各自延2日参加
- 7月30日 「ママハウス」に、NPOセンター（経済団体の1%クラブの方々）視察
- 8月1日 「ベビーホーム虹」旧小川幼稚園跡に定員15名でオープン
- 8月5日 「花巻ママハウス」にて、ママカフェオープン、ベビーマッサージ・虫除けスプレー  
講座開催

- 8月7日 家事援助者事業を巡って拡大理事会開催、ニーズの把握の指摘有。
- 8月8日 「ベビーホーム虹」の事務局員面接・採用決定
- 8月9日 シニアパワーにNPO会計処理の委託依頼
- 8月20日 「花巻ママハウス」にて、はぐくみの紹介で取材を受け得る。
- 8月26日 アスクル釜石の吉田直美氏と寄り添い相談の研修の打ち合わせ 理事長
- 8月28日 現地イン会議開催 第10回 いわて連携復興センター 北上グランニューホテル  
理事長参加
- 9月2日 釜石ママハウスにて、埼玉の「虹の会」を招聘し、「虹の家」と平田サポートセンターにて、読み聞かせとフルート演奏、ソプラノ独唱のコンサート実施
- 9月1日～5日 上中島保育所にて派遣研修を実施。  
研修内容:1日の保育の流れとその介助。
- 9月23日 「ベビーホーム・虹」スタッフ全体ミーティング第1回 理事長他7名
- 9月24日 国境なき子供たち、寄贈の事前相談視察 「ベビーホーム・虹」スタッフと対応  
「ベビーホーム・虹」・「虹の家」の保育アドバイザーの面接 理事長・副施設長
- 9月26日 日本NPOセンター モニタリング ママハウス: 理事長他スタッフ計4名
- 9月28日 シニアパワー 入力指導 「花巻ママハウス」にて
- 10月7日 ネーチャー協会 コスモス公園 理事長・管野参加
- 10月9日 釜石市長、「ベビーホーム・虹」を視察  
平成26年度第4回沿岸交流会 IN 釜石 助成金説明会 理事長参加
- 10月11日 女性相談員養成講座 若菜他、「花巻ママハウス」のスタッフ計3名参加
- 10月17日 釜石ひまわり 加藤弁護士との協議
- 10月23日 日本NPOセンター モニタリング
- 10月24日～26日 支援者のためのリフレッシュプログラム 日本NPOセンター主宰  
御殿場 理事長参加
- 10月27日 「花巻ママハウス」の賃貸借契約 畠山冷熱で契約
- 11月5日 「虹の家」の次年度の運営に関する相談 釜石市子ども課  
理事長・虹の家副施設長
- 11月9日 東日本大震災復興支援財団 活動報告会 東京汐留ビルディング 理事長参加
- 11月10日 タケダいのちとくらし再生プログラム、中間報告会 理事長参加 仙台
- 11月11日 SROI事業評価(日本NPOセンター) 慶応大学助教伊藤健ほか 釜石にてNPO団体  
及び行政機関を訪問取材。@りあす・男女共同参画室・子ども課・地域支援課他訪問
- 11月15日 孤立と貧困を放置しない地域を作るために 盛岡市勤労福祉会館 一般社団法人  
SWVE IWATE 主催 理事長出席
- 11月18日 補助金交付団体・会計指導 岩手県環境生活部 若者女性協働推進室より戴く  
理事長・葛巻・近村参加、

- 11月26日 第1回 子育て支援会議 虹の家運営会議 @リアス・保育アドバイザー・ベビ  
ーホーム虹・虹の家・上中島保育所・給食受託社参加
- 11月30日 ソーシャルメディア時代の組織の在り方研修 理事長参加
- 12月2-4日 あすくら宮古に、“寄り添い相談” 宿泊研修 若菜・藤枝
- 12月5日 東日本大震災復興支援財団 助成認定式 理事長参加  
TKP 仙台カンファレンスセンター
- 12月19日 チームビルディングで想いを一つに 派遣研修 理事長他スタッフ2名参加
- 2015年
- 2月11日 東日本大震災被災地復興支援 地域福祉活動報告研修会 YMCA アジア研究セン  
ター 理事長出席
- 2月17日 花巻市地域子育て支援活動課団体等の情報交換会 松井出席
- 2月17日 女性相談員養成講座 講師 宮古児童相談所長 中野幸二郎 理事長・保坂・  
及川出席
- 2月19日 女性相談員養成講座 講師 NPO 法人くらしのサポーターズ 吉田直美氏 理  
事長・保坂・及川出席
- 2月20日 女性相談員養成講座 講師 NPO 法人くらしのサポーターズ 吉田直美氏 保  
坂・及川・阿部出席
- 2月20日 岩手県 NPO と企業とのパートナーシップ第4回 東京交流会 理事長出席
- 2月21日 平成27年度「新しい東北」仙道モデル事業公募説明会 あえりあ遠野 理事  
長参加
- 2月25日 花巻市 理事長・阿部参加
- 2月27日 女性相談員養成講座 講師 釜石ひまわり基金法律事務所 理事長・保坂・及  
川・阿部出席
- 3月4日 タケダ・いのちとくらし プレゼンテーション 第5回継続助成プレゼンテーション  
仙台 理事長参加
- 3月6日 岩手県・若者女性協働推進室 認定化の手続きについてレクチャー 理事長
- 3月6日 花巻税務署 NPO 事業の営利・非営利について指導・助言 理事長
- 3月20日 WAN 助成の説明会&地域創造基金さなぶりの鈴木祐司氏講演 仙台 理事長
- 3月24日 釜石市子ども課 中妻移転の最終調整会議 理事長・山野目・赤崎



## 編集後記

### 「釜石ママハウス」 葛西香奈

地元釜石で母子支援を出来る喜びと難しさの一年だった。悲しみ不安を乗り越え笑顔を広げて行くことを常に考えていたが思いのほか大変なものだった。それでも、支えてくれたスタッフ、支援して下さった関係機関、ママや子供たちに励まされた。震災から4年、復興や子育てに関わる機関が進むにしても、憩いの場は未だ少なく、便利な世の中になっても、心の叫びは途絶えることはない。少なからず心のより所の一部であってほしい……。

私は事業報告書にて主にチラシ・お便り・釜石ママハウスの活動を担当。沢山の人に存在を知って貰い、利用してほしいと思った一年を綴った。

### 「釜石ママハウス」 保坂広子

釜石ママハウスに携わるようになって約一年半。母子支援として、ママの癒しや学びの機会を企画することはとても楽しく、講師や参加者さんとの交流から学ぶことも多く、なにより現在進行形で子育て真っ最中の身としては、「こんなイベントが釜石にもあったらいいのに…」というママ目線の意見をすぐ形に出来る場を与えていただき幸せです。

当団体に入るきっかけになった「支援される側から、支援する側に…」というコンセプトのもと、地元のママ達を巻き込んで展開されたママサポーター制度ではありましたが、支援をすることで、利用されるママや子どもたちから逆に元気ももらっている日々です。

事業報告書を仕上げる上でも、共に働く仲間に沢山助けられました。ありがとうございました。

### 「虹の家」 赤崎成子（保育士）

虹の家のスタッフの一員となり、1年が過ぎようとしている。初めて虹の家の扉を開けた時の明るく親しみやすい空気感は、今でも心に残っている。虹っ子やパパ、ママにとって虹の家が安心の場、楽しい場となるよう一層温かい雰囲気作りを心掛けたい。毎日の散歩は体力作りと自然観察が目的だが、自然からもらうエネルギーは確実に心も体も成長させてくれ、自然を愛する心も育んでくれている。虹っ子の笑顔から元気パワーをもらって、私たちスタッフも「今日も頑張ろう!!」と言う気持ちになる。今日も又、よろしくね！

### 「ベビーホーム・虹」 山野目久子

昨年8月より、「ベビーホーム・虹」で副施設長として勤務をしています。昨年7月の「保育者養成講座」を修了して、一週間もない期間で開園の準備をしたことを思い出します。子ども達を預かることが本当にできるのか、スタッフ皆が夢中で開設した「ベビーホーム・虹」でした。

“上中島保育園”さんと“すくすく”さんを始めとする沢山の方々に支えられながら、今年3月にはお陰様で開園してから8ヶ月が過ぎました。預かる待機児童の子供たちの人数も15人となり、報告書を書きながら改めて気持ちを引き締め、保育に当たって行きたいと思います。